

3. 建物のモデリング

3.1. 階数・階高の設定

3.1.1. 階設定

「ホーム」タブから「階設定」をクリックします。「階設定」ダイアログで、次のように設定します。

設計 GL : CAD 高 ±0

地上 : 2 階

1FL = 設計 GL + 600

1F 階高 : 2700

SL ⇄ FL 高 : 0 (空欄)

梁天 ⇄ SL 高 : 43

2F 階高 : 2600

SL ⇄ FL 高 : 0 (空欄)

梁天 ⇄ SL 高 : 43

1F の「ユーザーレベル」をダブルクリックして、次のレベルを追加して「OK」します。

名称 : べた基礎天

レベル : -550

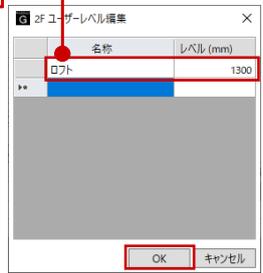
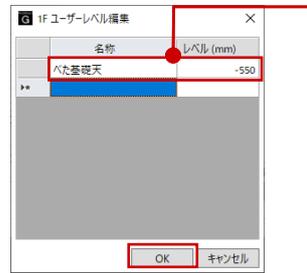
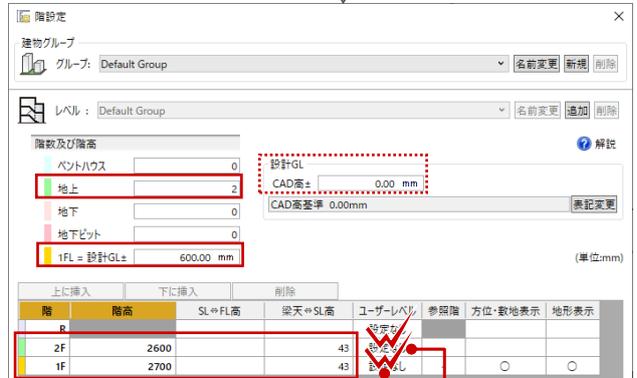
続いて 2F の「ユーザーレベル」をダブルクリックして、次のレベルを追加して「OK」します。

名称 : ロフト

レベル : 1300

2F と R 階の「方位・敷地表示」をクリックして表示を ON にします。

「階設定」を「OK」で終了します。



GLOOBE のレベル設定では、「階」「設計 GL」「SL」「FL」「梁天」という基準が標準で用意されています。基準となるレベルを任意に設定する場合に「ユーザーレベル」を追加します。

任意に追加したユーザーレベル

3.2. グリッドの設定

3.2.1. グリッド設定

「選択・表示」タブから「グリッド・ドラフタ」メニューの「グリッド設定」をクリックします。

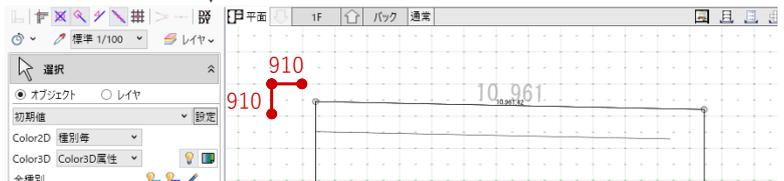
次のように設定して、「OK」します。

間隔 X : 910 Y : 910

グリッドを表示する : ON

尺モジュール 910 ピッチの方眼が平面ビュー上に表示されます。

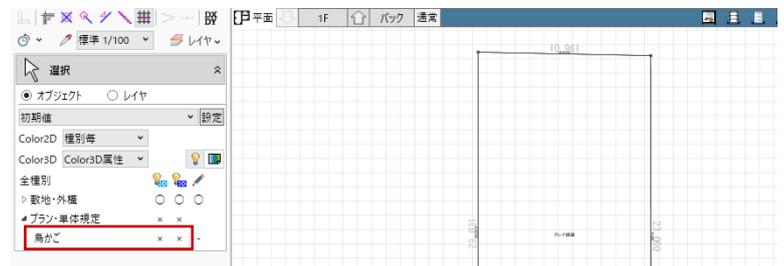
「通り芯」を基準に入力を進めることもできますが、ここでは「グリッド」を基準にして進めます。



3.2.2. 表示設定

集団規定チェックにより、平面ビュー（または 3D ビュー）に鳥かごが表示されます。このまま作業を続けてもかまいませんが、ここでは十分な余裕が確保されているものとして、いったん鳥かごを非表示にします。

コマンドサポートウィンドウの「プラン・単体規定」の種別から「鳥かご」の「2D 表示」「3D 表示」を OFF にします。



3.3. スペース（室・部屋）の入力

3.3.1. スペース

「建物設計」タブから「スペース」をクリックします。

入力モード：矩形

「スペース」のテンプレートは、「初期値」とします。

スナップモード：グリッド

※その他は OFF

矩形の始点をクリックします。ここでは任意のグリッドでかまいません。続いて終点を、次のサイズになるようにクリックします。

縦：9100 （グリッド 10P）

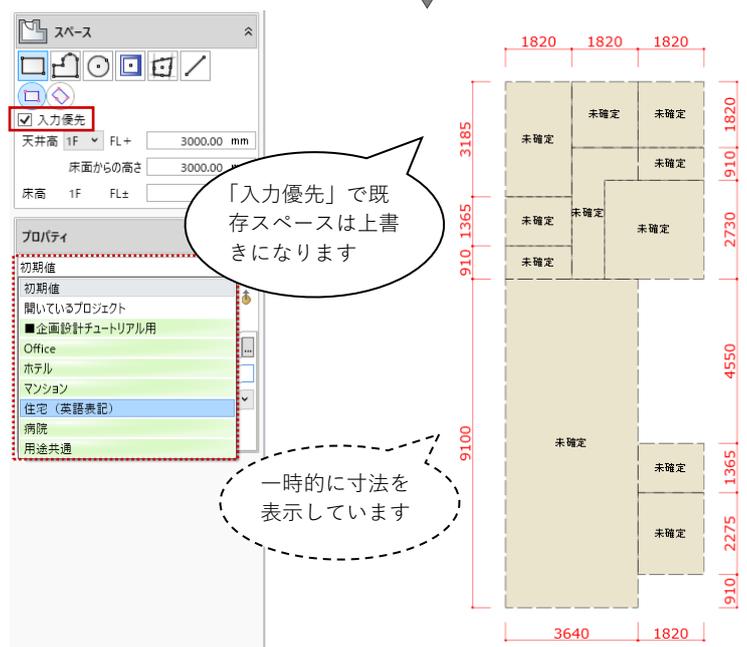
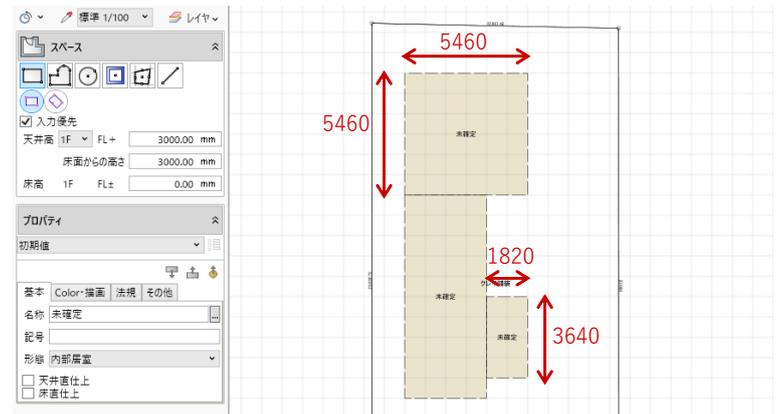
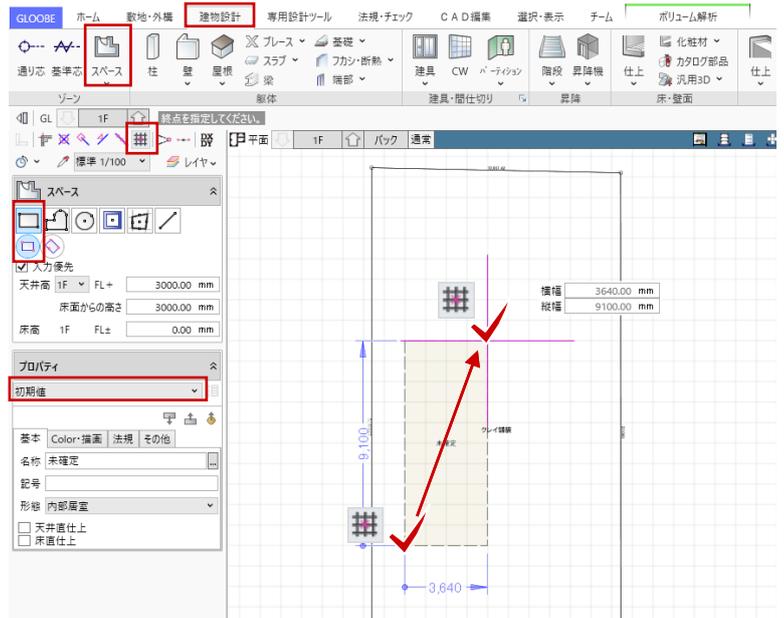
横：3640 （グリッド 4P）

同様にして、右図のようにスペースを入力します。

スペースの「入力優先」が ONであることを確認します。

同様の操作で、先に入力したスペースに重ねて、右図のように入力します。

ここでは、テンプレート「初期値」でスペースの名称（部屋名）を個別に指定しませんが、「住宅」「マンション」等のテンプレートから「LD」「トイレ」など細かく入力することもできます。



3.3.2. テンプレート割り当て

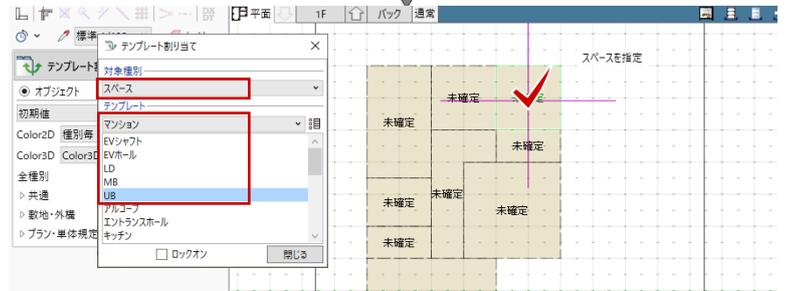
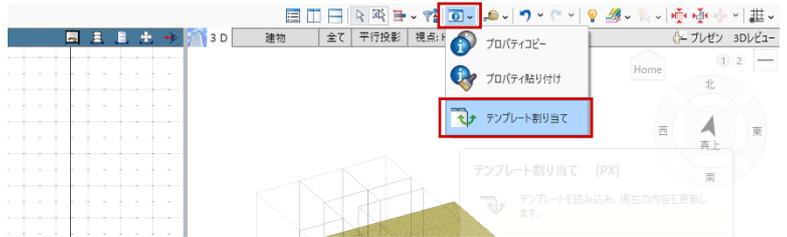
ツールバーの「テンプレート割り当て」をクリックします。

「テンプレート割り当て」のダイアログで次のように設定します。

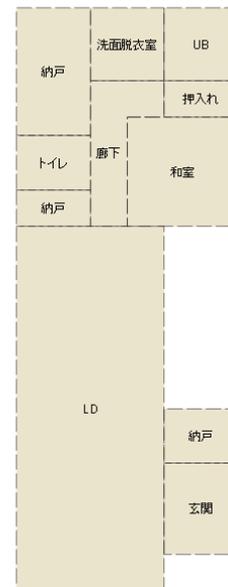
対象種別：スペース

テンプレートグループ：マンション

一覧から「UB」を選択して右図のスペースをクリックします。「未確定」のスペースが「UB」になります。

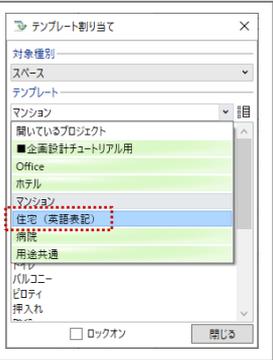


同様にして、右図のようにすべてのスペースに室名を割り当てます。割り当て完了後、「閉じる」でダイアログを終了します。



「テンプレート割り当て」では、室名だけでなく天井高や用途、居室かどうかといったスペースのプロパティ情報が、テンプレートに登録された内容によって更新されます。

ここでは、「マンション」のテンプレートグループを使用しましたが、「住宅（英語表記）」を使用してもかまいません。テンプレートは自由にカスタマイズできるため、よく使うものをテンプレートに登録しておく便利です。



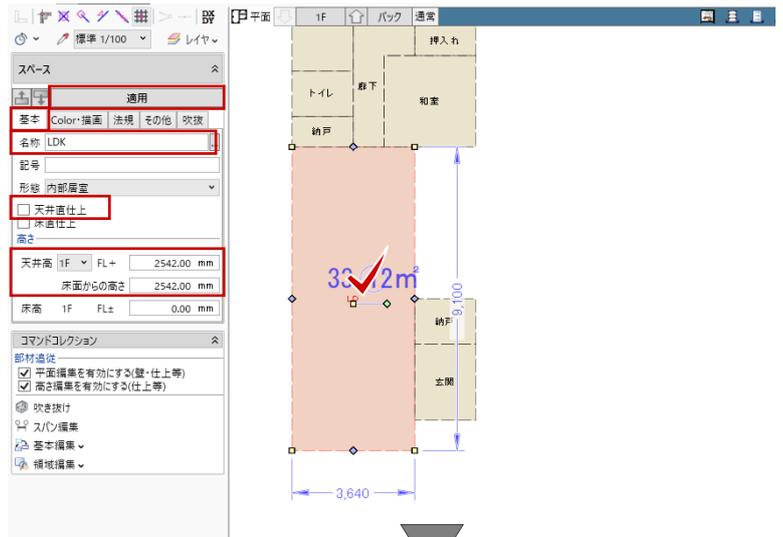
3.3.3. 室名等の変更

割り当てたスペースのプロパティ情報を確認し、内容を変更します。

右図の「LDK」を選択します。「基本」タブを確認して、内容を次のように変更し、「適用」をクリックします。

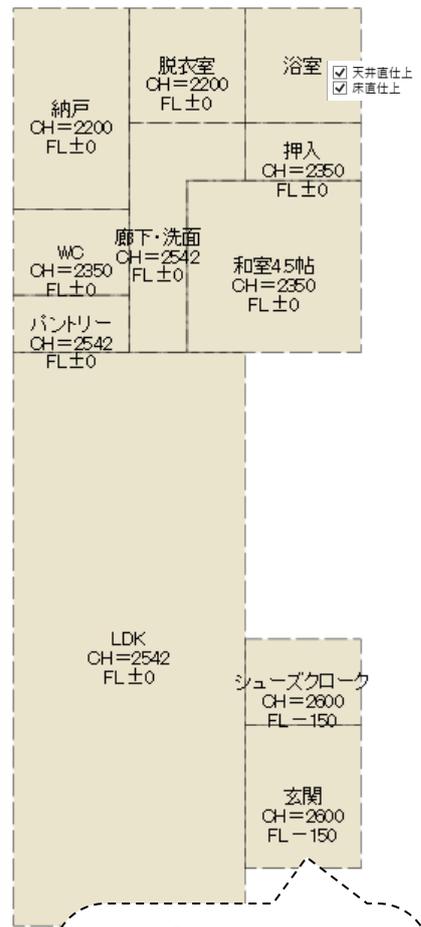
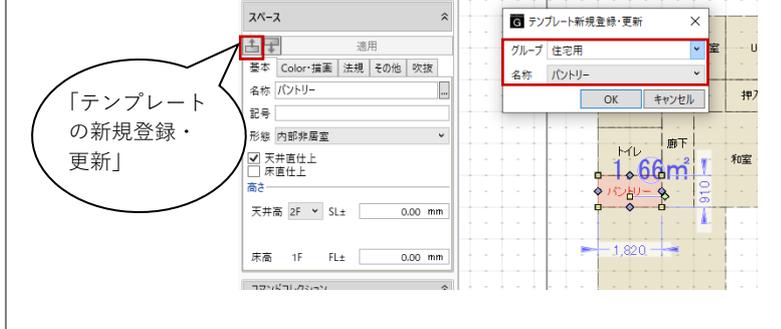
- 名称：LDK
- 天井直仕上：OFF
- 天井高：1F FL=2542

同様にして、各室の室名や天井高等のプロパティ情報を整えます。
 ※浴室を除き、すべてのスペースの「床直仕上」「天井直仕上」はOFFにします。



スペースのプロパティでは、名称や天井高、居室／非居室／外部、有効採光対象かどうか、容積率の算定対象かどうかなど、各種の情報が確認・変更できます。設計の進捗に合わせ、必要な情報を入力し確定します。

スペースのテンプレートの登録や更新、割り当てが、プロパティで行えます。「テンプレートの新規登録・更新」をクリックして、「グループ」「名称」をそれぞれ入力して「OK」することで、現在のプロパティ情報がスペースのテンプレートとして登録されます。登録したテンプレートは、この建物モデルに限らず、すべての建物モデル入力で有効になります。



一時的に「Color・描画」タブの「天井高」「床高増減」を表示しています。

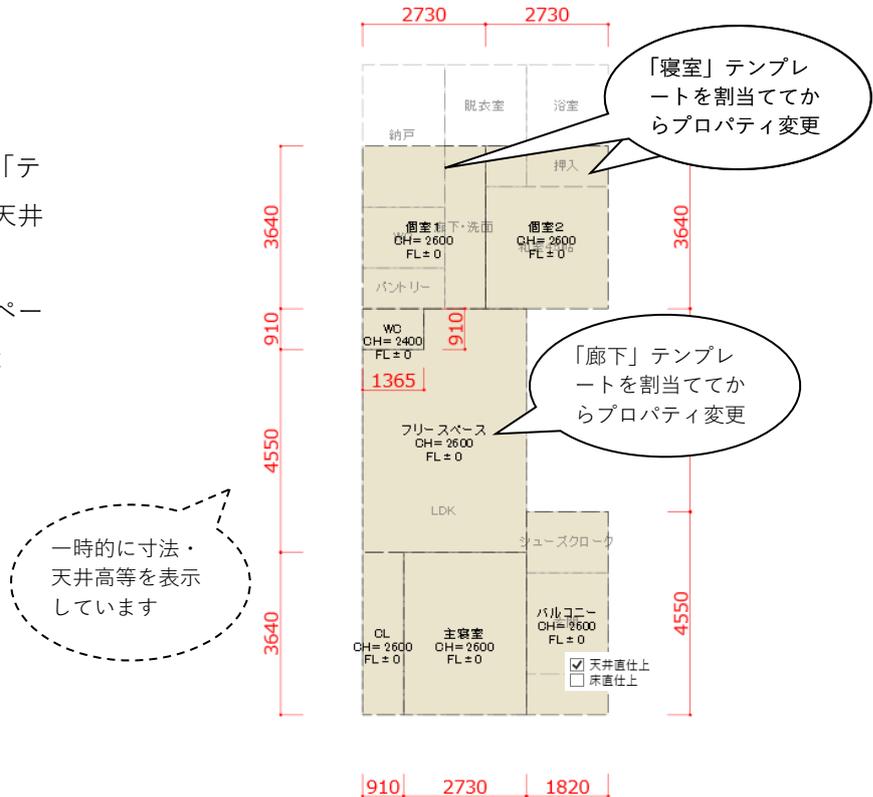
3.3.4. 2階のスペース入力

平面ビューツールバーより、表示階を2Fに切り替えます。

「バック」をクリックして、「下階」の表示をONにして「OK」します。



1Fと同様にスペースを入力して、「テンプレート割り当て」後、室名・天井高等のプロパティ情報を整えます。
※バルコニーを除き、すべてのスペースの「床直仕上」「天井直仕上」はOFFにします。



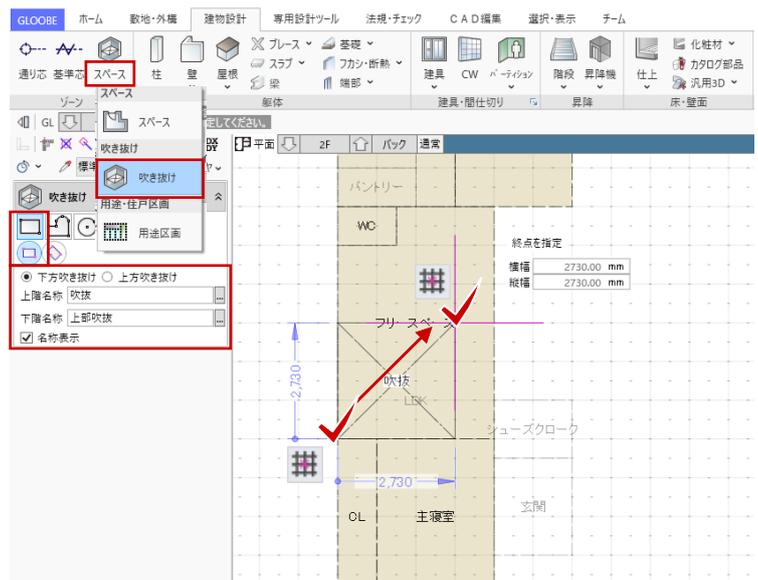
3.3.5. 2階吹き抜け入力

「スペースメニュー」から「吹き抜け」をクリックします。次のように設定します。

- 入力モード：矩形
- 下方吹き抜け：ON
- 名称表示：ON
- 上階名称：吹抜
- 下階名称：上部吹抜

右図のようにフリースペースに吹き抜けを重ねて入力します。

- 縦：2730 (グリッド3P)
- 横：2730 (グリッド3P)



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

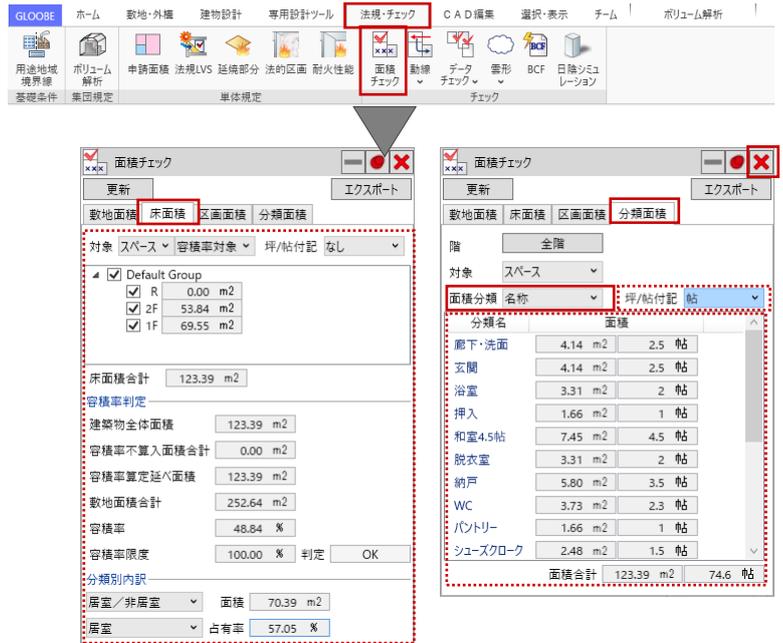
3.3.6. 面積チェック

「法規・チェック」タブから「面積チェック」をクリックします。

「面積チェック」ダイアログの「床面積」タブで、スペースの階ごとの面積や敷地面積などを確認します。容積率や占有率、レンタル比の確認も可能です。

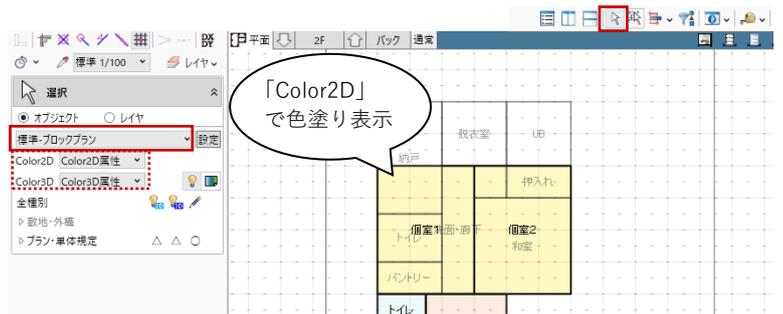
「分類面積」タブでは、任意の分類で面積を確認します。「面積分類」を「名称」とすると、各室の面積が一覧で表示されます。坪数や帖数表記も可能です。

「× (閉じる)」で「面積チェック」を終了します。



3.3.7. 表示設定、断面ビュー

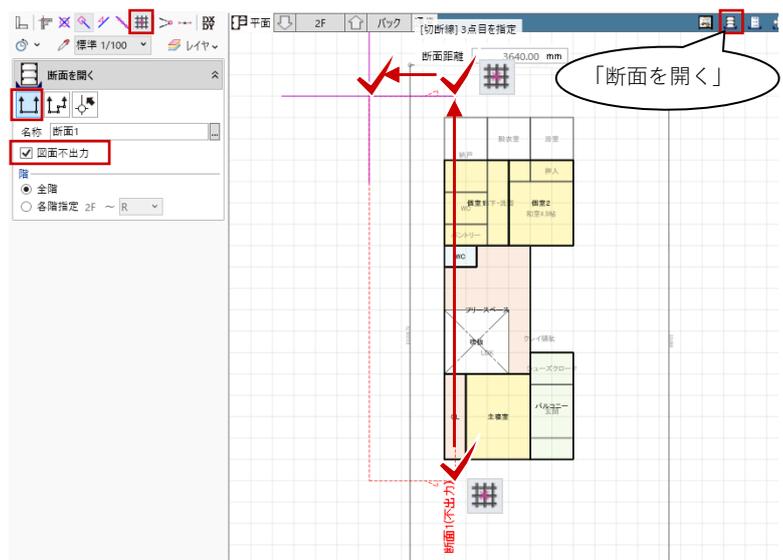
スペースの情報を整理します。作業がしやすいように、ツールバーの「選択」をクリックして「標準-ブロックプラン」に表示を切り替えます。用途ごとに色付けされた単線プランの表示になります。



続いて、平面ビューツールバーから「断面を開く」をクリックし、次のように設定します。

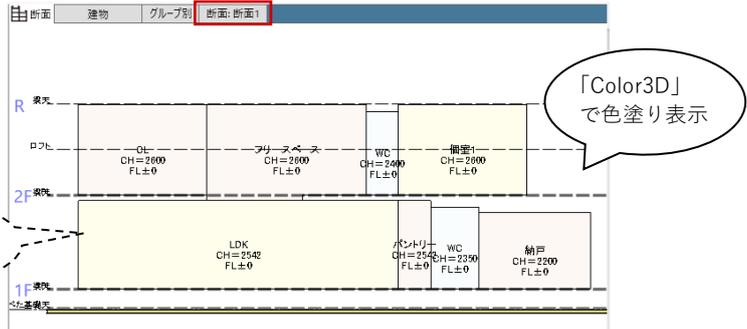
- スナップモード：グリッド
- 入力モード：断面線
- 図面不出力：ON
- 階：全階 ON

右図のように切断線の1点目→2点目、見る方向の3点目を順にクリックします。

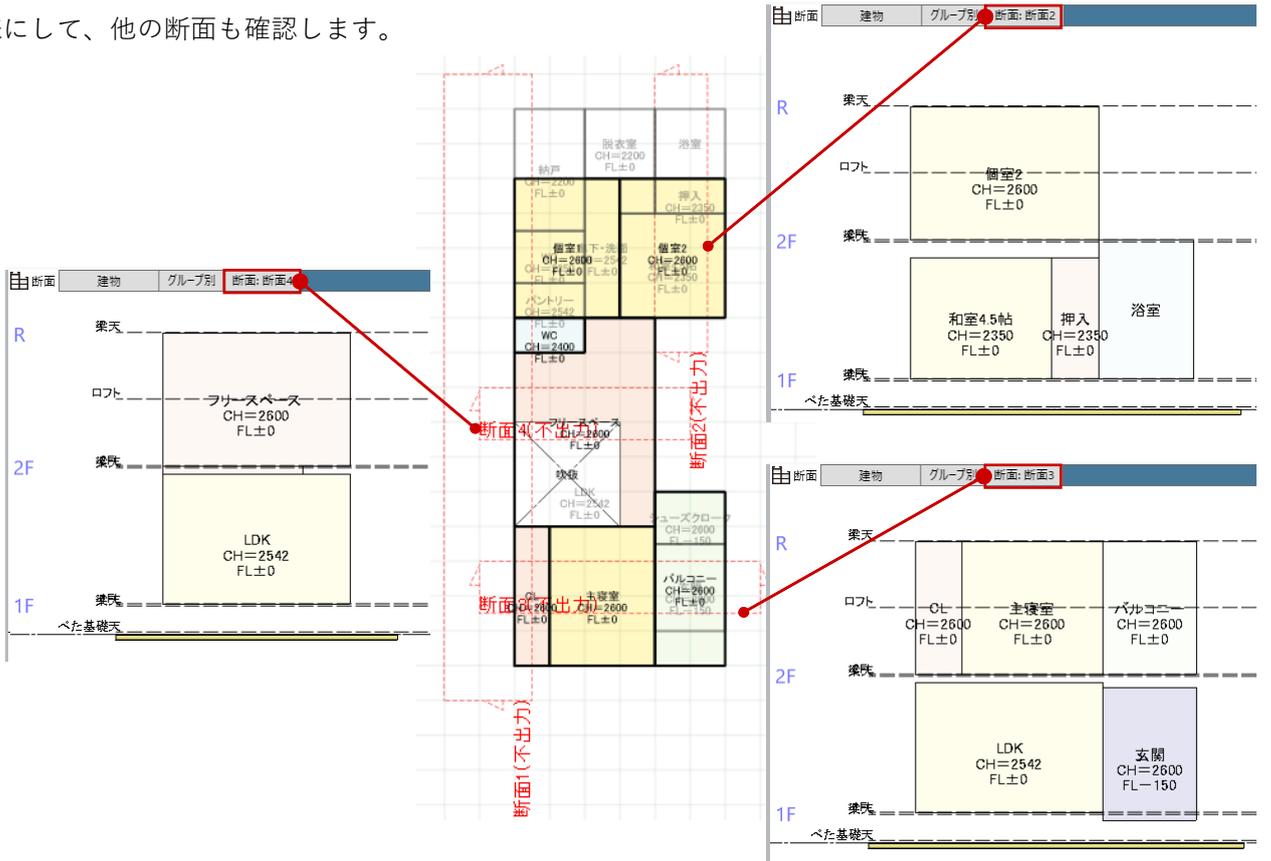


指定した位置の断面ビューが表示されます。

一時的に天井高等を表示しています



同様にして、他の断面も確認します。

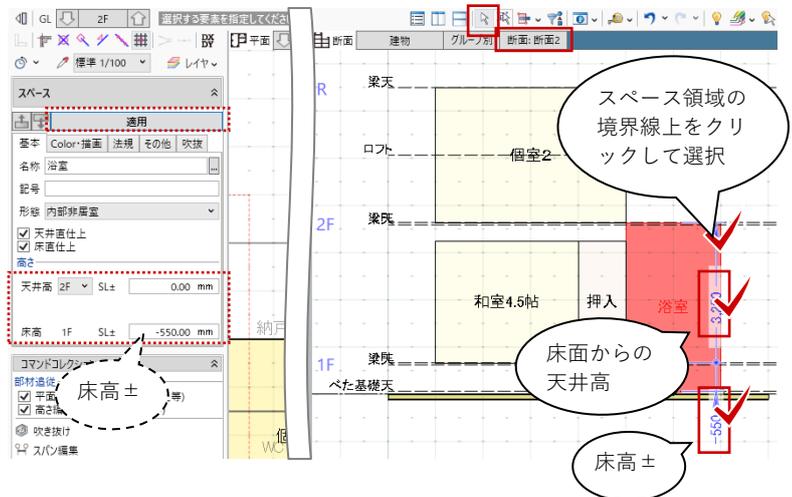


天井高の変更は、断面ビューからも行えます。ここでは、断面ビューを「断面2」に切り替えます。

ツールバーの「選択」をクリックして、断面ビューより浴室をクリックして選択します。

寸法線が表示されますので、寸法をクリックして値を変更します。

コマンドサポートウィンドウのプロパティ情報からも同様に変更できます。



3.4. 建具の入力

3.4.1. 建具（外部）

表示階を 1F に切り替えます。

作業がしやすいように、「共通」「敷地・外構」のすべてを非表示にします。

「ビューの切り替え」で断面ビューを 3D ビューに切り替え、「エリアの切り替え」より「アクティブ階」に変更します。

「建物設計」タブから「建具」をクリックします。

各種プロパティ情報のうち、この時点で決めておきたい情報のみを設定します。後からいつでも変更ができますので、「初期値」テンプレートのまま、幅高の寸法にこだわらずざっくりと入力いただいてかまいません。

ここでは、テンプレートグループから「(計画)」を選んで、「2枚引き違い」を選択し、次のように設定します。

種別：ガラス戸

入力モードを「1点」に変更します。建具の配置基準が建具中央となります。

高さ基準：建具下端 ON

取付高：1F FL 0

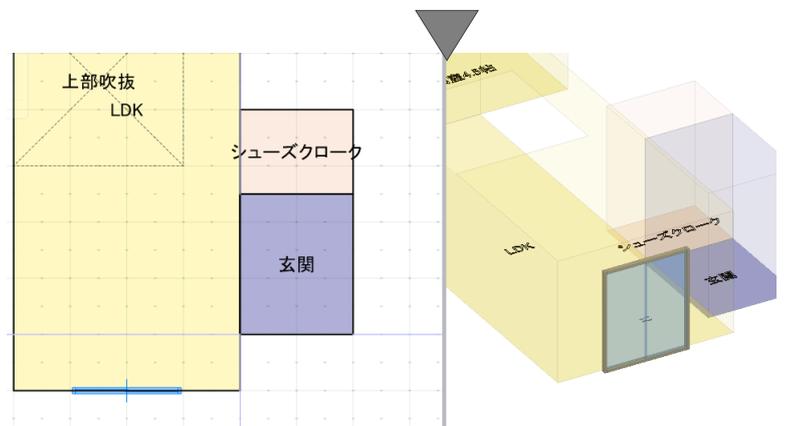
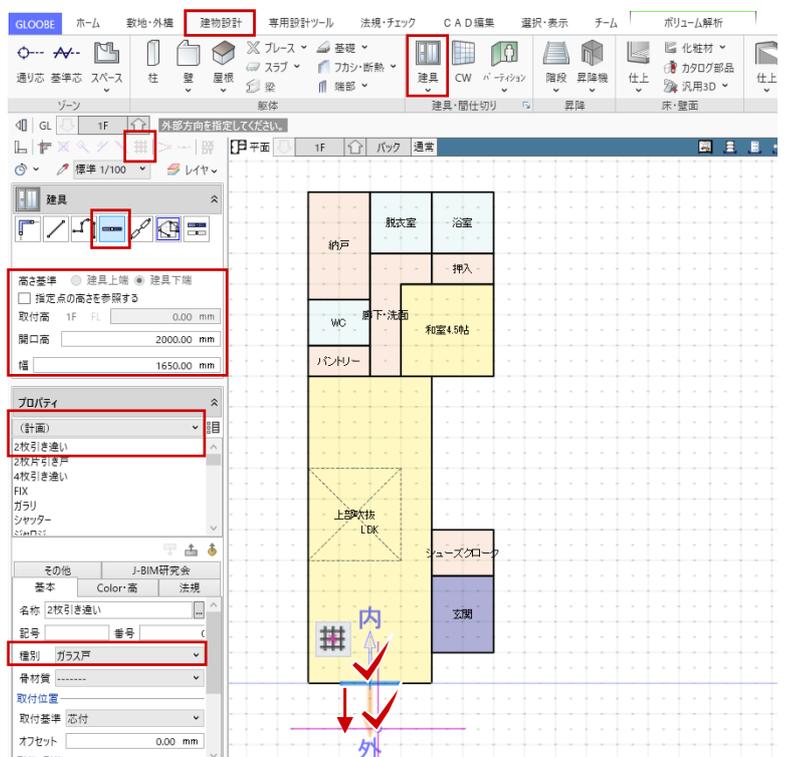
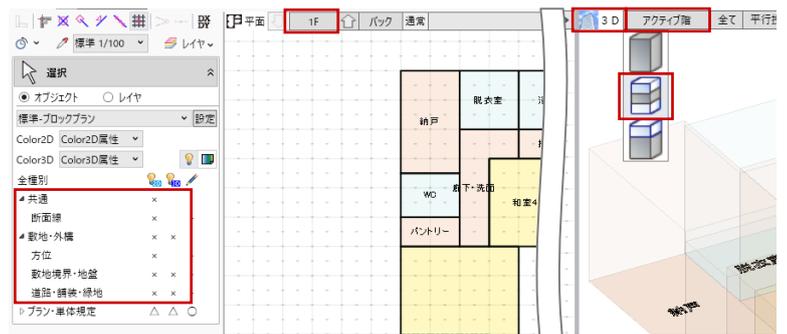
開口高：2000

幅：1650

スナップモード：グリッド

右図の位置でクリックし、続けて外部方向をクリックします。

引き違い戸が入力されました。

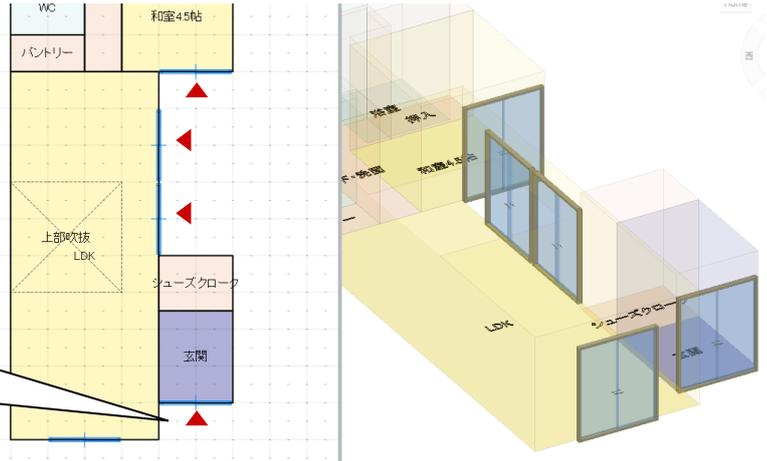


同じ建具を右図の4か所にも入力します。

玄関の戸は下端がFL-150になります。

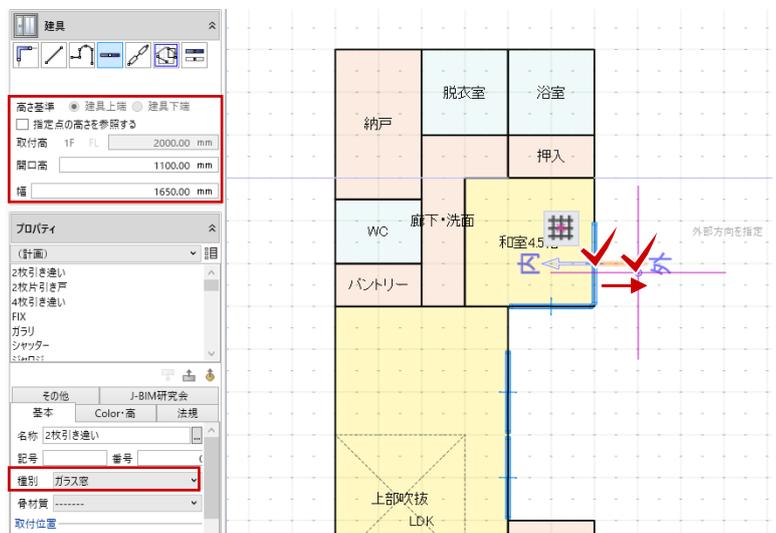
高さ基準 ○ 建具上端 ● 建具下端

取付高 1F FL



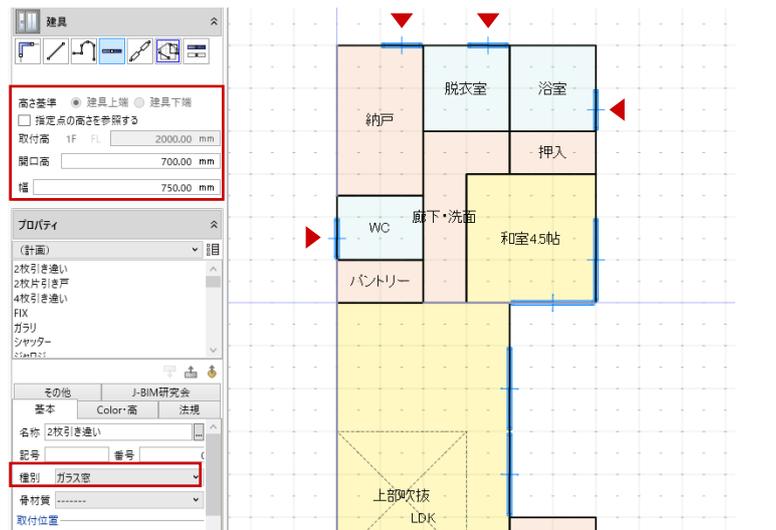
設定を次のように変更して、右図のように入力します。

- 種別：ガラス窓
- 高さ基準：建具上端 ON
- 取付高：1F FL 2000
- 開口高：1100
- 幅：1650



設定を変更して、右図の4か所に入力します。

- 種別：ガラス窓
- 高さ基準：建具上端 ON
- 取付高：1F FL 2000
- 開口高：700
- 幅：750



テンプレートや、種別、開口高、幅などを以下のように変更して、右図の位置に入力します。

テンプレート：FIX

種別：ガラス窓

高さ基準：建具上端 ON

取付高：1F FL 2000

開口高：300

幅：1650

テンプレート：縦すべり

種別：ガラス窓

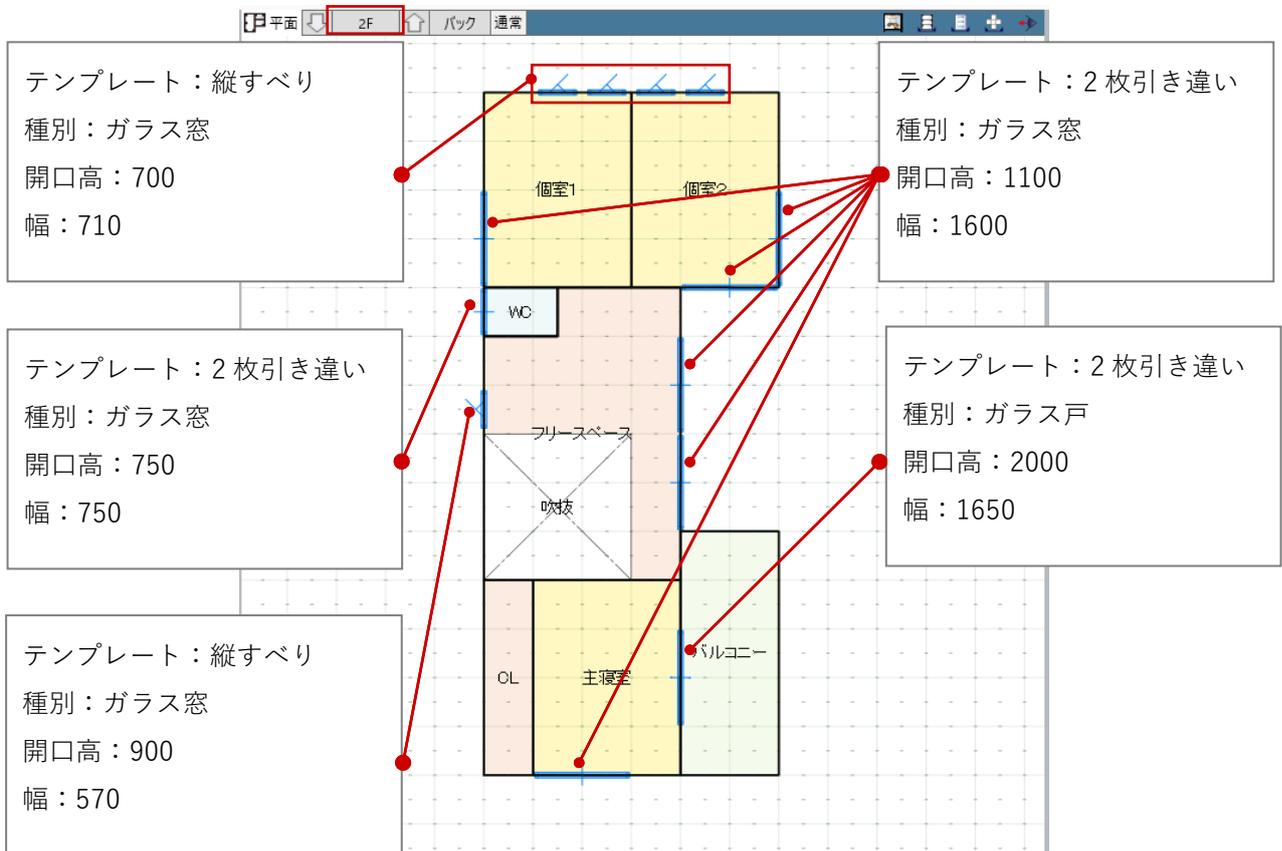
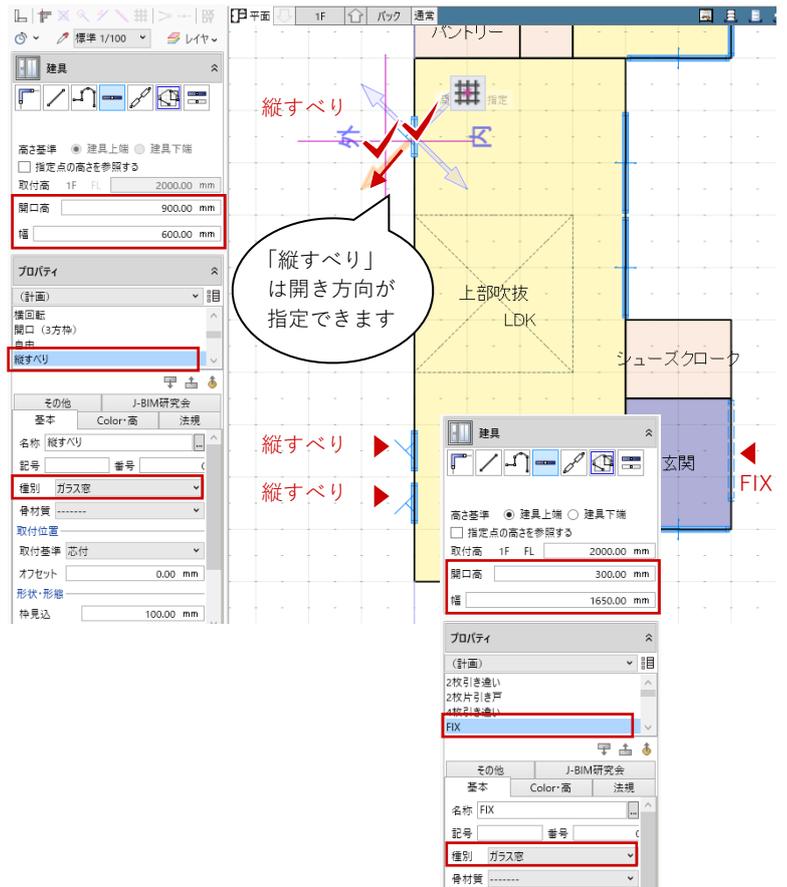
高さ基準：建具上端 ON

取付高：1F FL 2000

開口高：900

幅：600

表示階を 2F に切り替えて、外部の建具を 1F 同様に入力します。



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

3.4.2. 建具 (内部)

表示階を 1F に切り替えて、内部の建具を入力します。

テンプレートグループから「13 ハンガー片引き戸」を選びます。「表示方法の切り替え」をクリックして、アイコン表示に切り替えます。「ハンガー片引き戸-木調 (全面パネル)」を選択します。

高さ基準：建具下端 ON

取付高：1F FL 0

開口高：2000

入力モードを「線分」に変更します。

「配置タイプ」を「開口幅指定」に変更します。入力点が開口幅になります。

スナップモード：グリッド

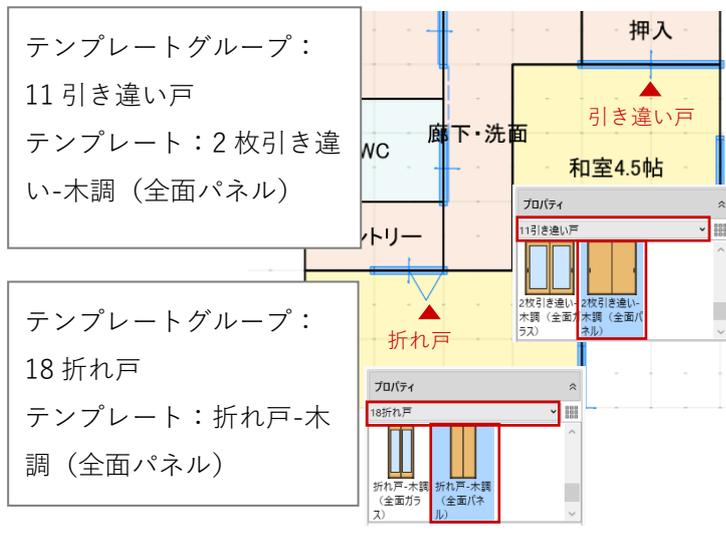
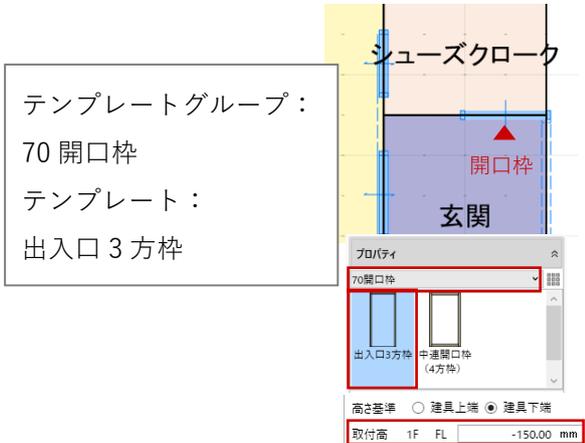
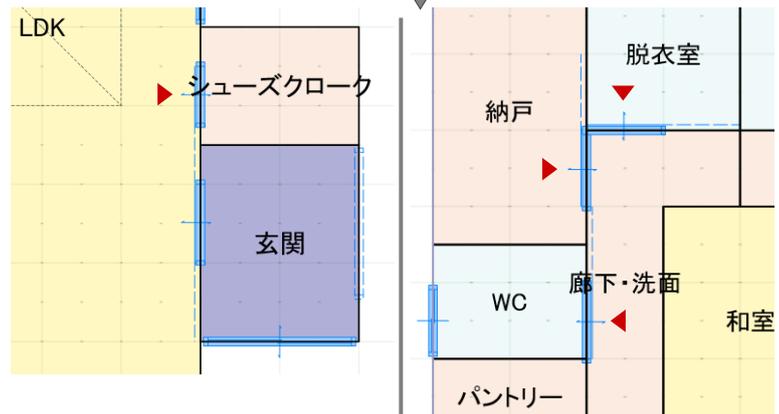
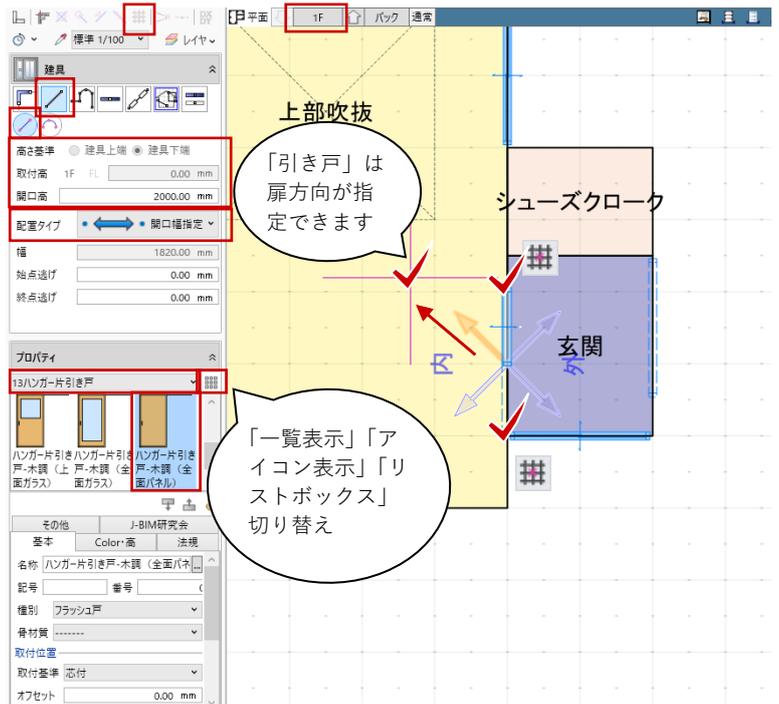
右図の位置で1点目 (始点) をクリックし、続けて2点目 (終点・開口幅) をクリック、最後に3点目 (開き方向) をクリックします。

片引き戸が入力されました。

同じ建具を右図の4か所にも入力します。

テンプレートを以下のように変更し

て、右図の位置に建具を入力します。

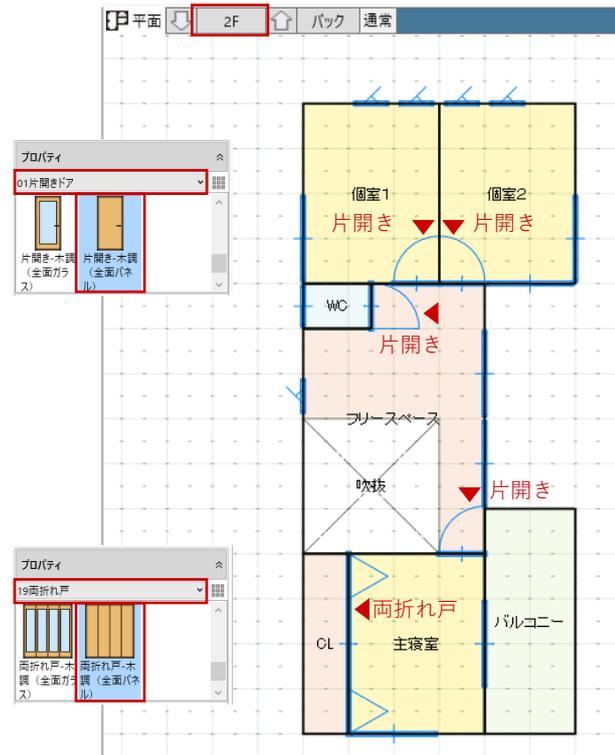


第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

表示階を 2F に切り替えて、内部の建具を 1F 同様に inputs します。

テンプレートグループ：
01 片開きドア
テンプレート：片開き-
木調（全面パネル）

テンプレートグループ：
19 両折れ戸
テンプレート：両折れ戸
-木調（全面パネル）



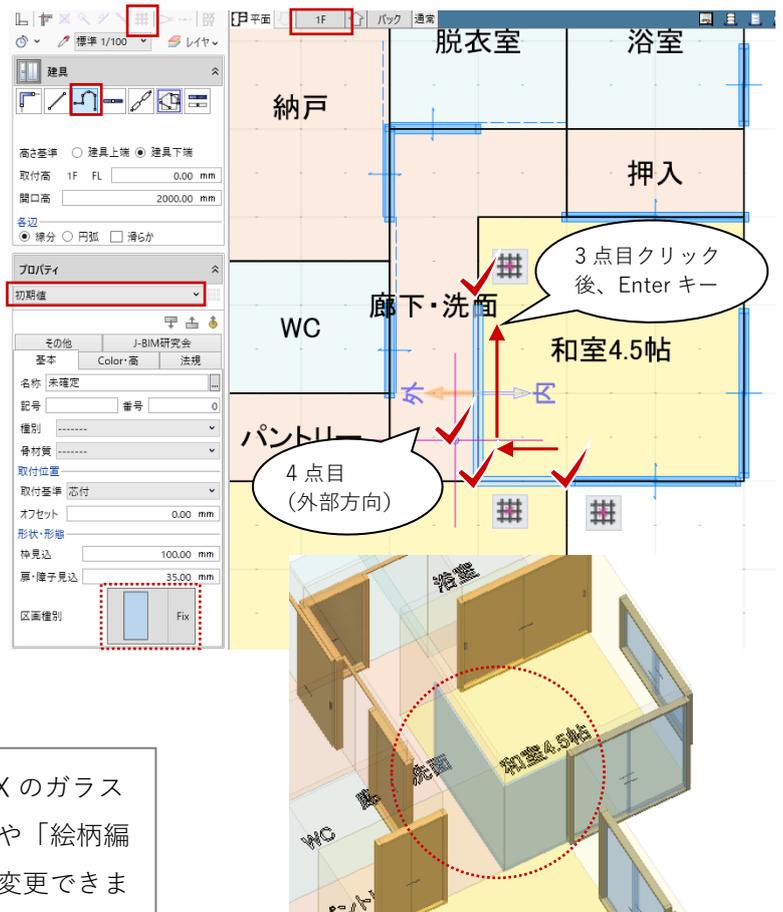
表示階を 1F に切り替えて、和室の建具を inputs します。テンプレートは「初期値」とします。

開口高：2000

入力モードを「連続線（円弧可）」に変更します。

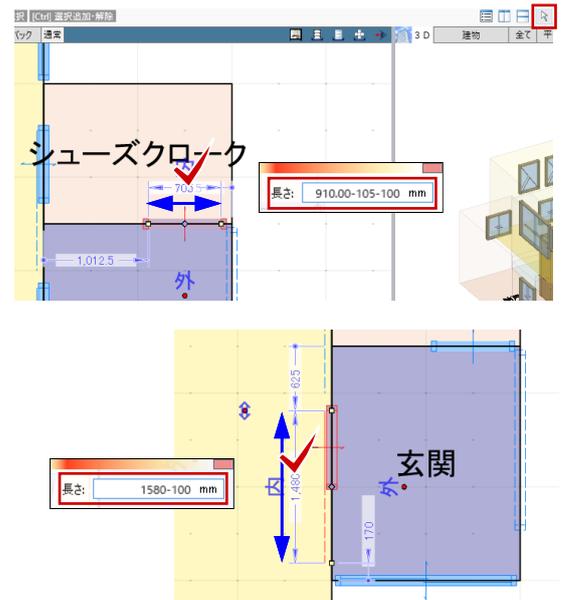
スナップモード：グリッド

右図の位置で 1 点目（始点）をクリックし、コーナーの 2 点目、開口幅となる 3 点目をクリックして、Enter キーを押します。最後に 4 点目（外部方向）をクリックします。



初期値のテンプレートを使用したことで、FIX のガラス面として inputs されますが、後で「建具編集」や「絵柄編集」機能を使って障子の引き戸にデザインを変更できますので、ここではこのままにしておきます。

グリッドを使って入力しているため、ここでは建具の端部が重なったり柱芯にかかったりしています。設計の進捗に合わせて後から調整するためこのままでかまいませんが、気になる場合はツールバーの「選択」から入力した建具を選択し、トラッカー編集や補助寸法編集を使って建具幅（内寸）やスペース領域（壁芯）からの逃げ寸法を調整します。



「建具編集」「建具見付編集」「絵柄編集」といった機能を利用することで、建具は自由にデザインできます。詳しい操作方法につきましては、福井コンピュータアーキテクト公式サイト「お客様サポート」に掲載のマニュアル「モデル入門編」でご確認いただけます。

▶GLOOBE の各種マニュアルはこちらから

<https://archi.fukuicompu.co.jp/user/products/globe/manual.html>



ガラスの領域を追加する

- ① 「建具領域」をクリックします。
 - ② 見込を「壁指定」の「5mm」に設定します。
 - ③ 補助線の交点をクリックして、右図のようにガラスの領域を入力します。
- ⇒ 操作方法は P.44 参照



3.5. 壁の入力

3.5.1. 壁

「建物設計」タブから「壁」をクリックして、次のように設定します。

入力モード：要素範囲参照 - 矩形範囲

上端：2F 梁天 0

下端：1F 梁天 0

要素参照：スペース

外部：ON 内部：OFF

「壁」のテンプレートから「木壁下地」グループの「木下地-105」を選び、「充填断熱材」をONにします。

1階のスペース全体を範囲指定します。スペースの外周部に壁が入力されました。

設定を次のように変更し、先ほどと同様にスペース全体を範囲指定します。

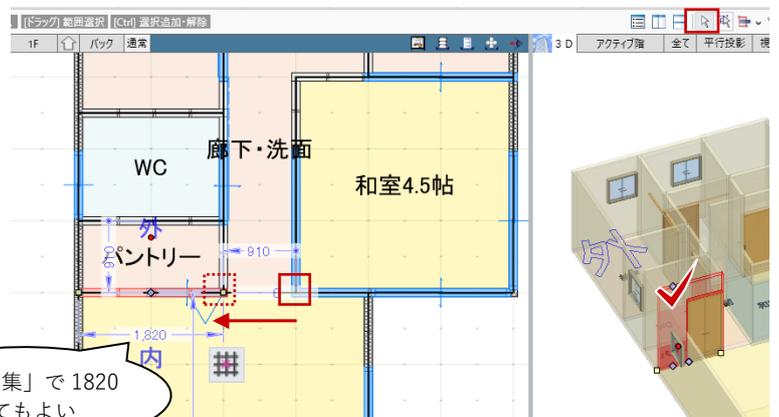
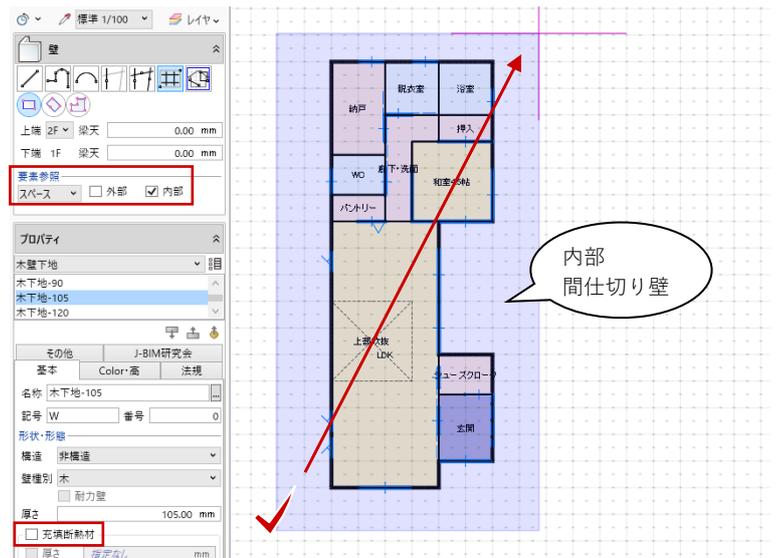
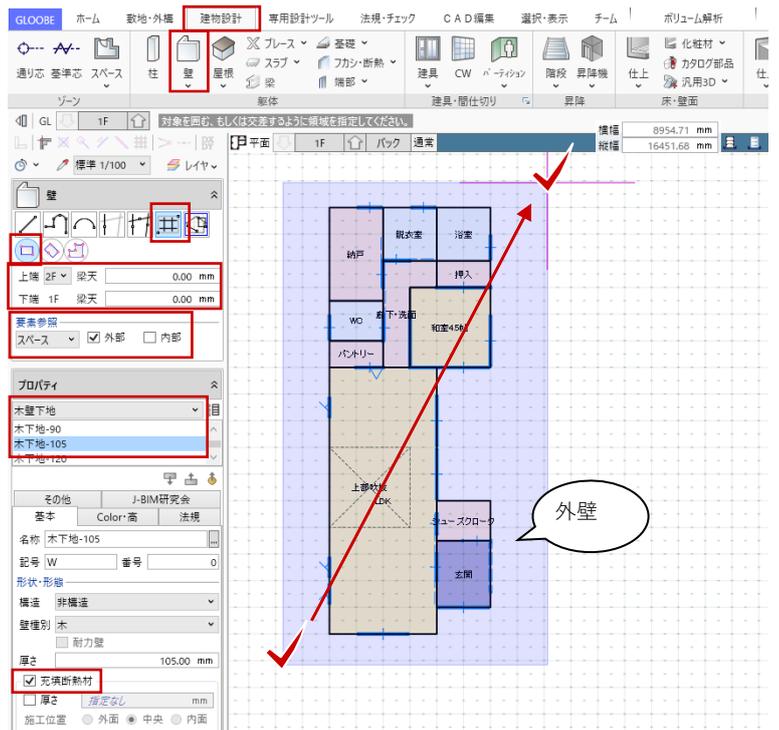
要素参照：スペース

外部：OFF 内部：ON

充填断熱材：OFF

LDK と廊下・洗面の間の壁を編集します。ツールバーの「選択」をクリックして、右図の壁を選択します。スナップモード：グリッド 壁端部のハンドルにマウスを近づけて、「頂点移動」の状態でもう一度左ドラッグして910（グリッド1P）長さを縮めます。

「寸法編集」で1820に縮めてもよい



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

玄関前（バルコニー下）に壁を入力します。

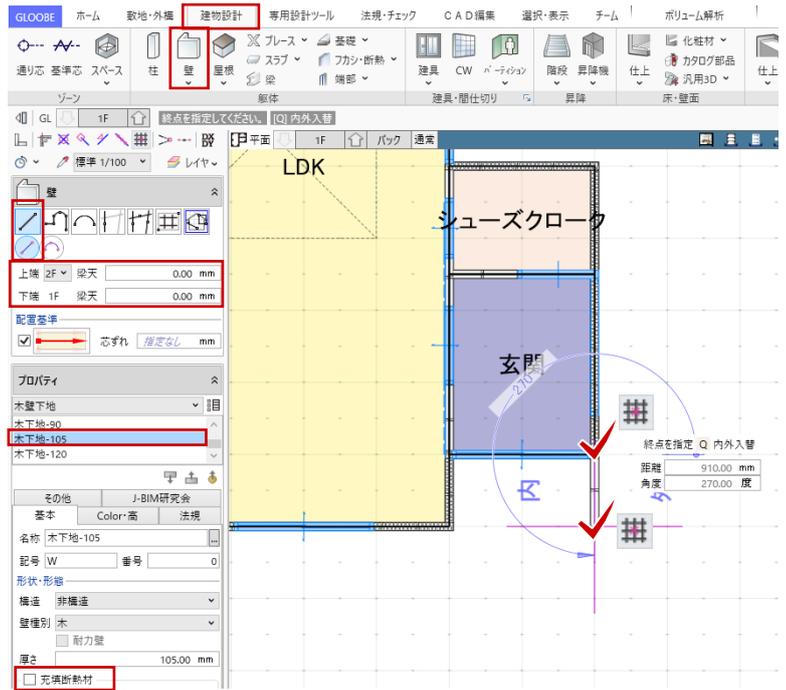
「建物設計」タブから「壁」をクリックして、次のように設定します。

入力モード：線分-線分

上端：2F 梁天 0

下端：1F 梁天 0

「壁」のテンプレートから「木壁下地」グループの「木下地-105」を選び、「充填断熱材」はOFFにします。
 スナップモード：グリッド
 右図のように910（グリッド1P）の長さで袖壁を入力します。

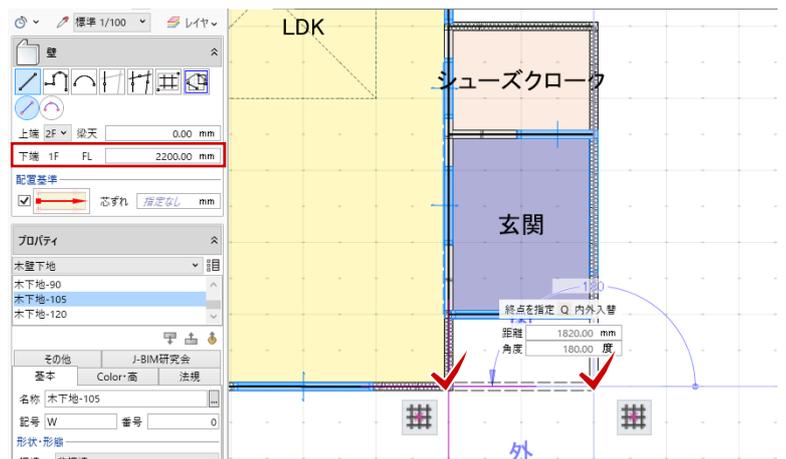


壁の高さを次のように変更して、たれ壁を入力します。

上端：2F 梁天 0

下端：1F FL 2200

右図のように1820（グリッド2P）の長さでたれ壁を入力します。



階を「2階」に変更し、1階と同様に外周部の壁、内部の壁をそれぞれ入力します。

入力モード：要素範囲参照-矩形範囲

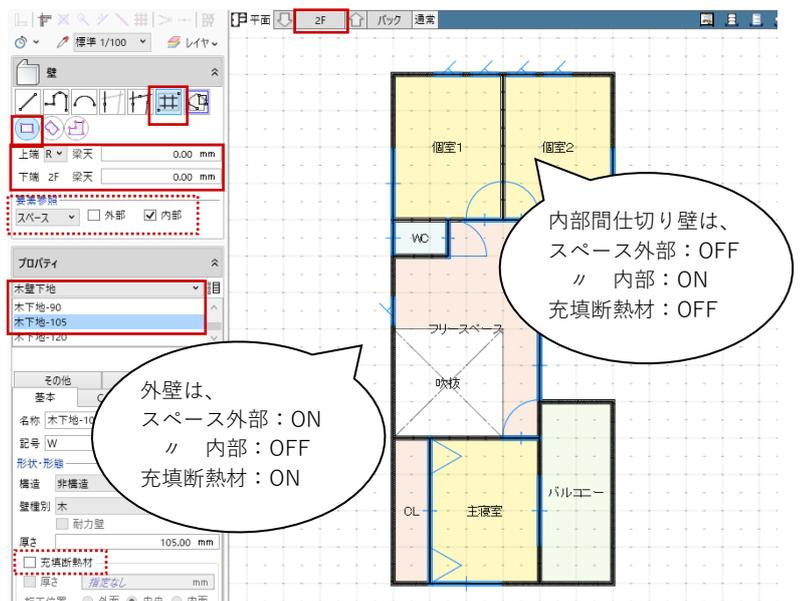
上端：R 梁天 0

下端：2F 梁天 0

要素参照：スペース 外部/内部で ON/OFF 切り替え

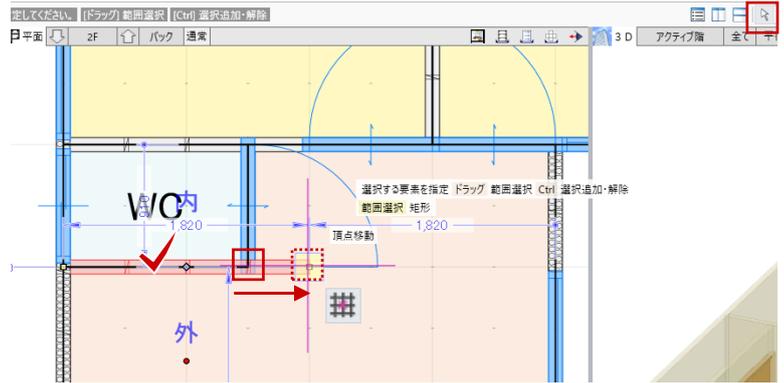
充填断熱材：外部/内部で ON/OFF 切り替え

テンプレート：「木壁下地」グループの「木下地-105」



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています

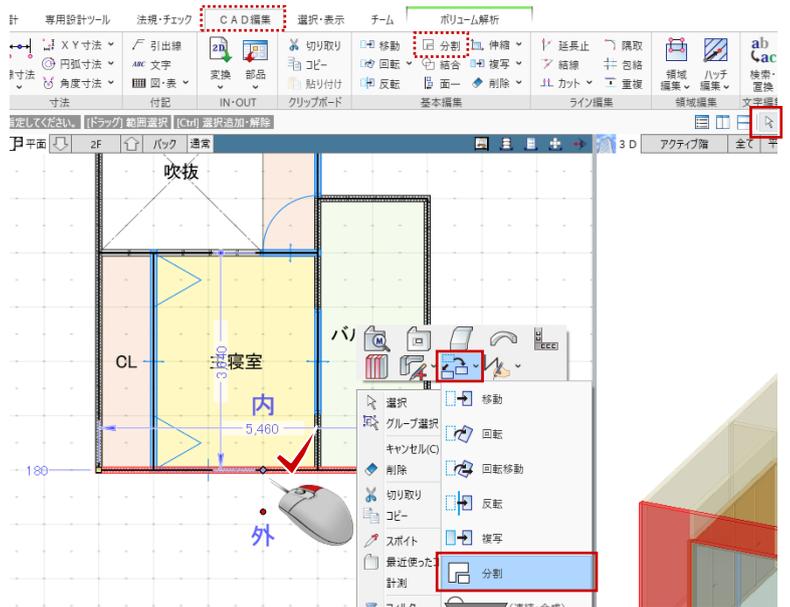
WCの壁を編集します。ツールバーの「選択」をクリックして、右図の壁を選択します。
 スナップモード：グリッド
 壁端部のハンドルにマウスを近づけて、「頂点移動」の状態で右ドラッグして455（グリッド1/2P）長さを伸ばします。



バルコニーの壁を編集します。
 主寝室とバルコニーの壁が連続した一続きの壁になっていますので分割します。

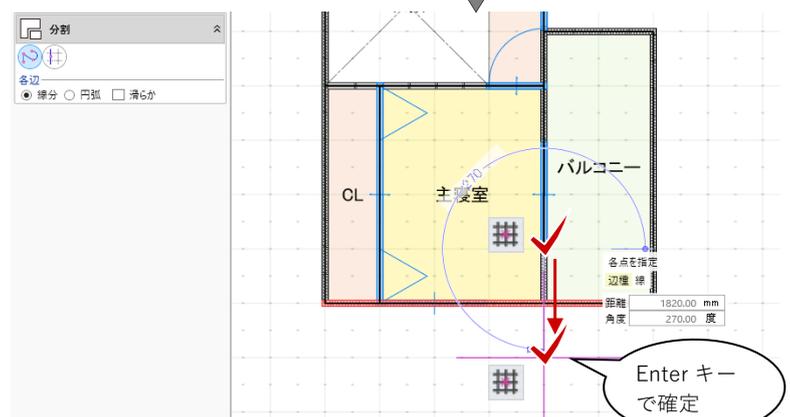
ツールバーの「選択」から、該当の壁を選択して右クリックします。「基本編集」のメニューから「分割」をクリックします。

「CAD 編集」タブから「分割」を選ぶこともできます。



スナップモード：グリッド

主寝室とバルコニーの間のグリッド上で縦方向に2点クリックし、Enterキーで確定します。



表示上の大きな変化はありませんが、主寝室とバルコニー部分とで、別々に壁を選択できるようになっていれば正しく分割されています。

ツールバーの「選択」から、Ctrl キーを押しながらバルコニー部分の3か所の壁をクリックで選択します。

壁のプロパティを次のように設定します。

基本タブ

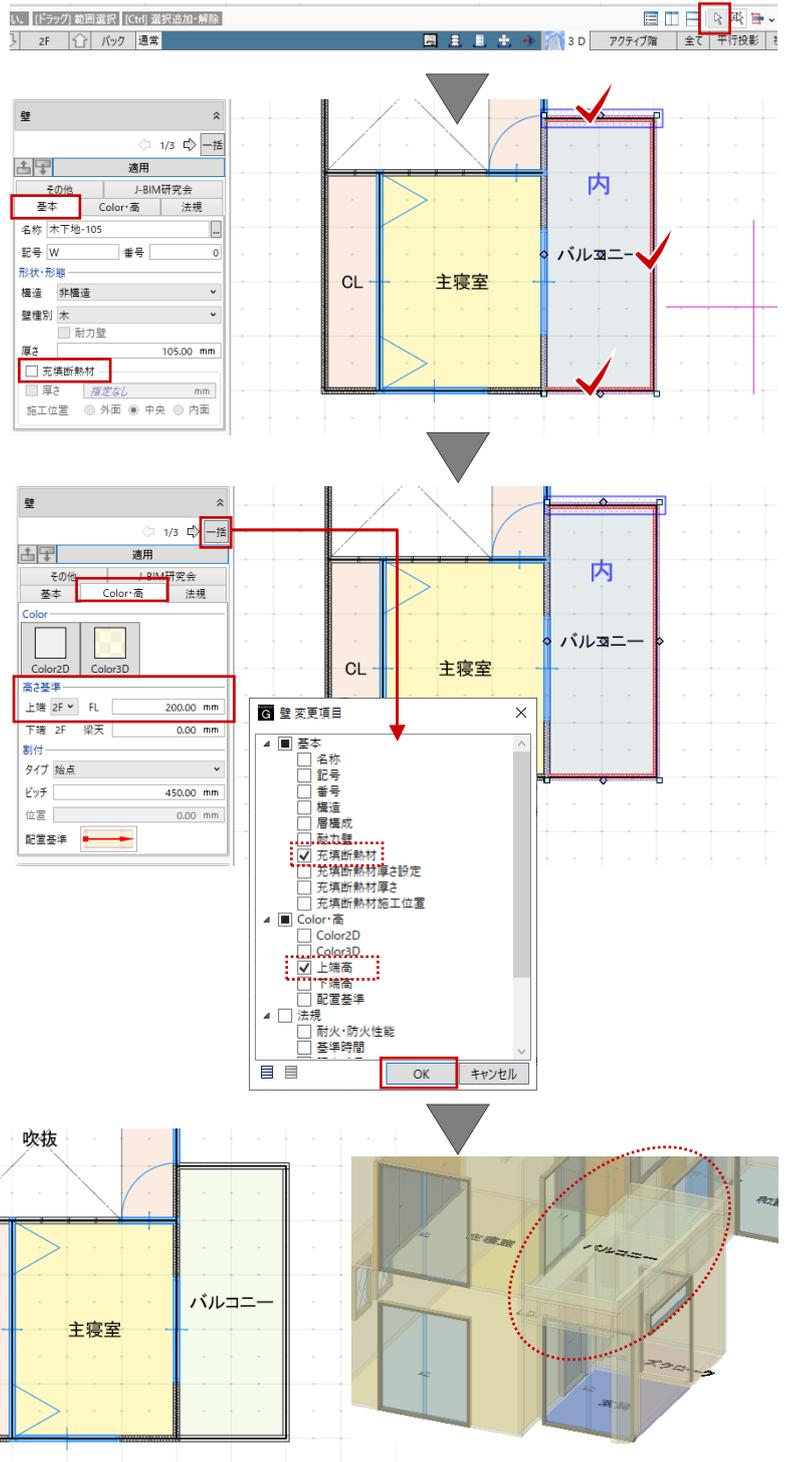
充填断熱材：OFF

Color・高タブ

上端：2F FL 200

「一括変更」をクリックして、「壁 変更項目」ダイアログから変更箇所のチェックがONになっていることを確認して「OK」します。

3か所の壁がまとめて変更されました。



3.6. 階段の入力

3.6.1. 階段

階を「1階」に変更します。「建物設計」タブから「階段」をクリックし、次のように設定します。

入力モード：直行-直行

上端：2FL 0

下端：1FL 0

踏面数：ON 12

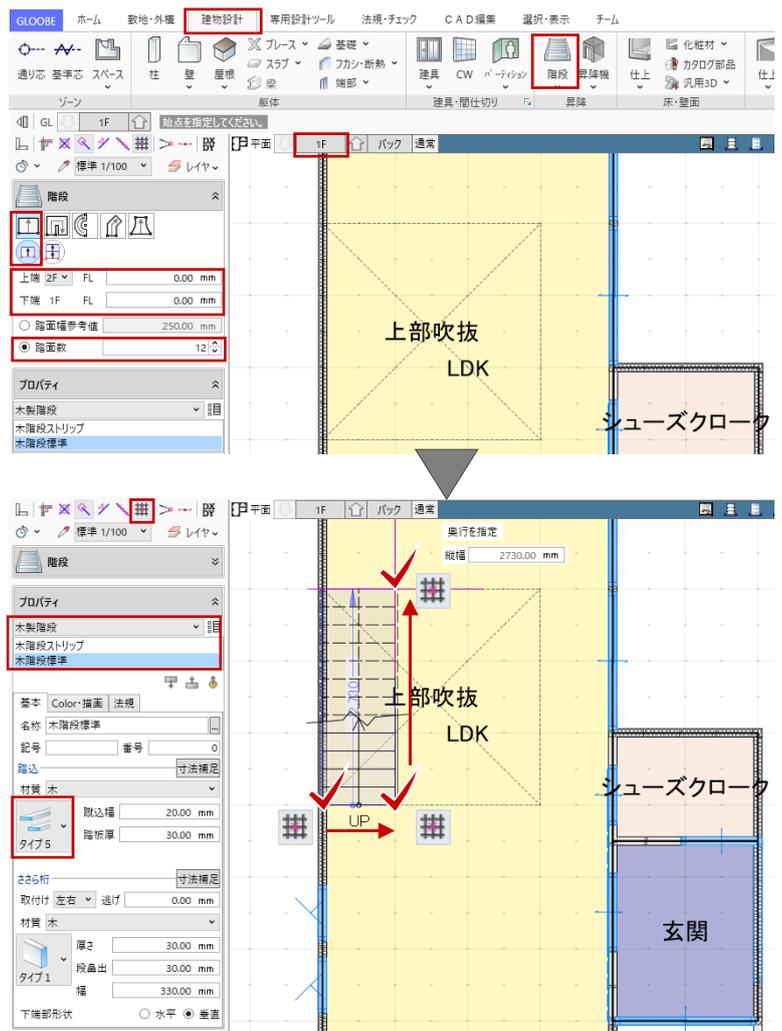
「階段」のテンプレートから「木製階段」グループの「木階段標準」を選び、次のように設定します。

基本タブ

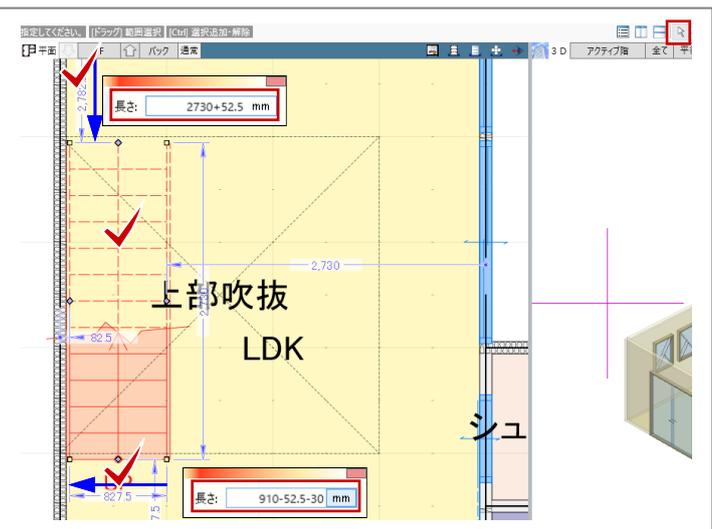
踏込 形状：タイプ5

スナップモード：グリッド

右図のように、1点→2点で階段の幅、3点目で奥行をクリックして、階段を入力します。

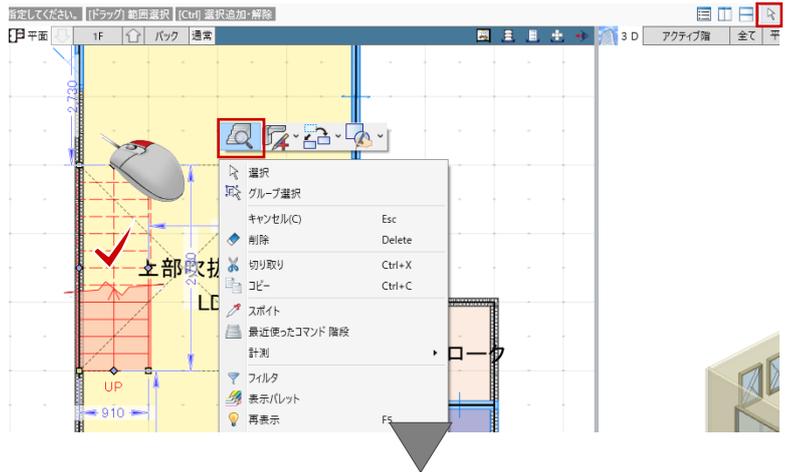


グリッドを使って入力しているため、ここでは階段の端部が壁芯や梁芯にかかった状態になります。設計の進捗に合わせて後から調整するためこのままでかまいませんが、気になる場合はツールバーの「選択」から入力した階段を選択し、トラッカー編集や補助寸法編集を使って階段の幅や奥行、壁芯からの逃げなどを調整します。

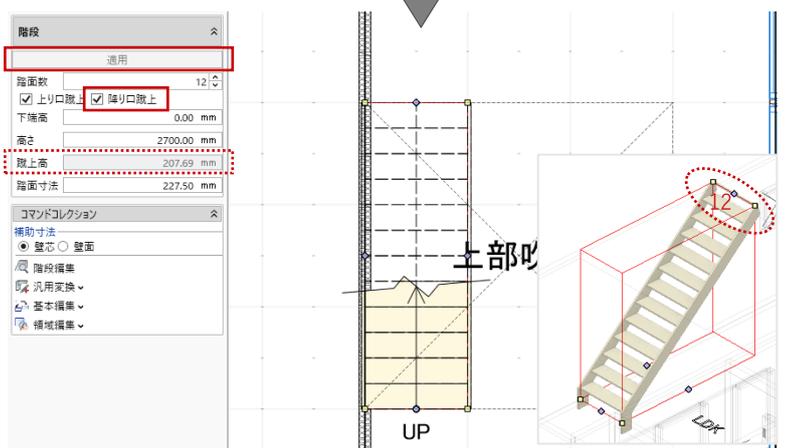
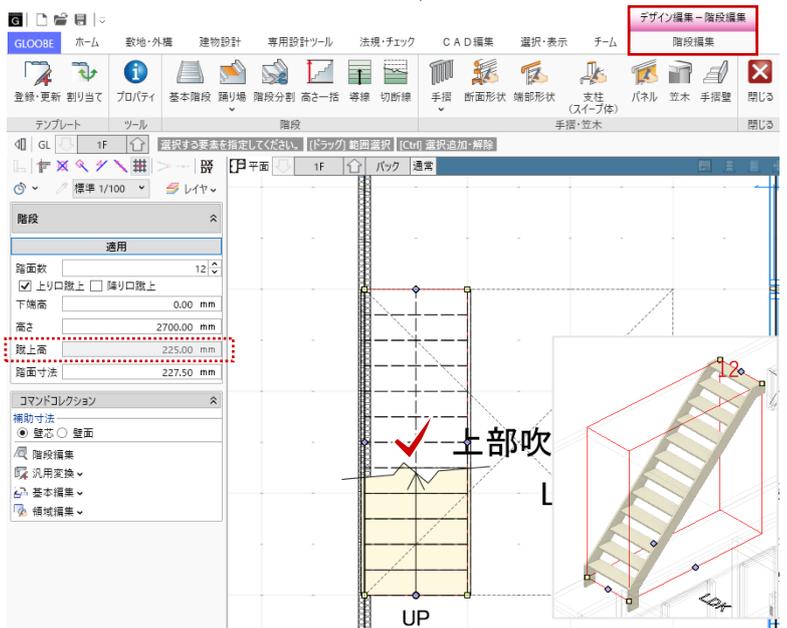


3.6.2. 階段編集

ツールバーの「選択」から入力した階段を選択し、右クリックして「階段編集」を選びます。「階段編集」のタブが開きます。



入力した階段を選択し、「降り口蹴上」をONにして「適用」をクリックします。最終12段目からもう1段で2FLに到達するように全体の蹴上高が調整されます。



階段に手摺を設置します。

「階段編集」のタブから「通常手摺」をクリックし、次のように設定します。

入力モード：ささら辺参照

入力終了時レベル確認：OFF

手摺高：1200（初期値のまま）

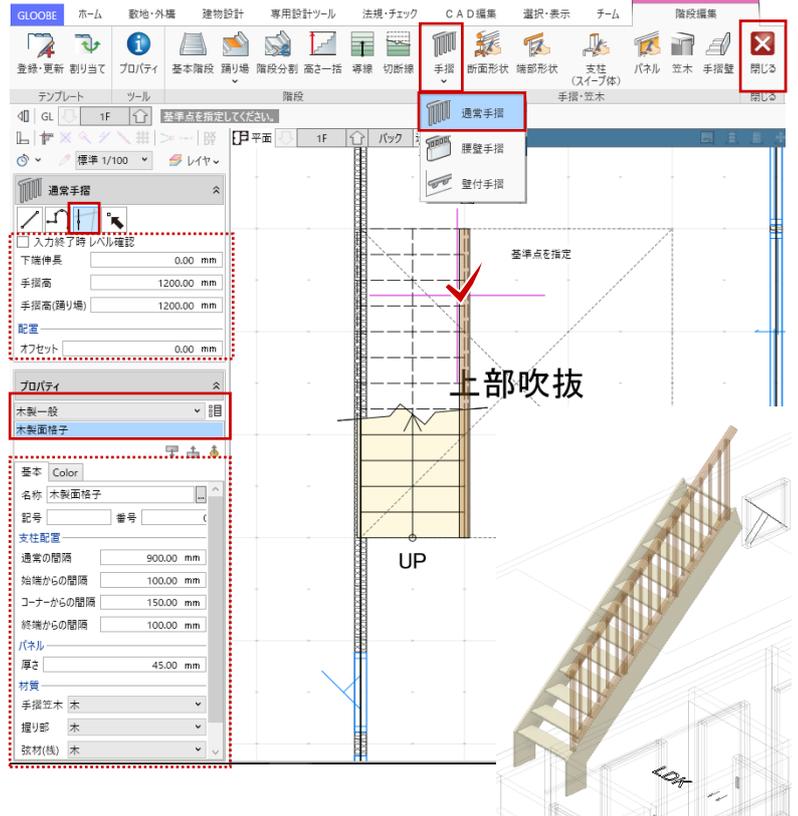
配置 オフセット：0（初期値のまま）

テンプレート：任意

ここでは、「木製一般-木製面格子」を使用します。

右図のように、ささら辺の上でクリックして手摺を入力します。

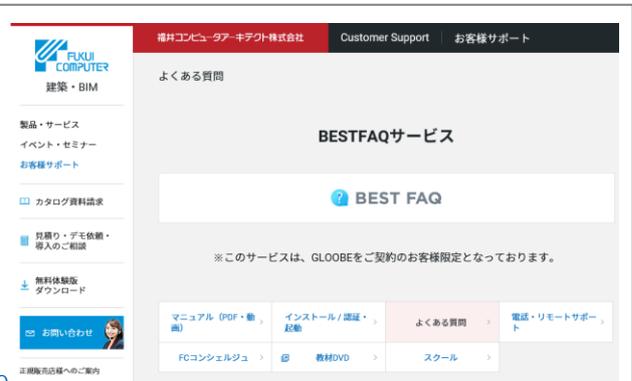
「閉じる」をクリックして、「階段編集」を終了します。



「手摺編集」機能を利用することで、手摺の断面形状や支柱、パネルは自由にデザインできます。詳しい操作方法につきましては、「ヘルプ」または「よくある質問」より「手摺」をキーワードにして検索いただくとご覧いただけます。

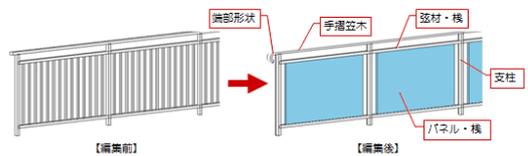
▶ GLOOBE のよくある質問

<https://archi.fukuicompu.co.jp/user/products/globe/faq.html>

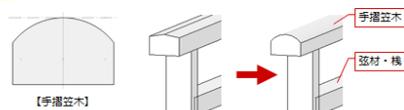


▼ 手摺をデザインする

次図の手摺を例に解説します。



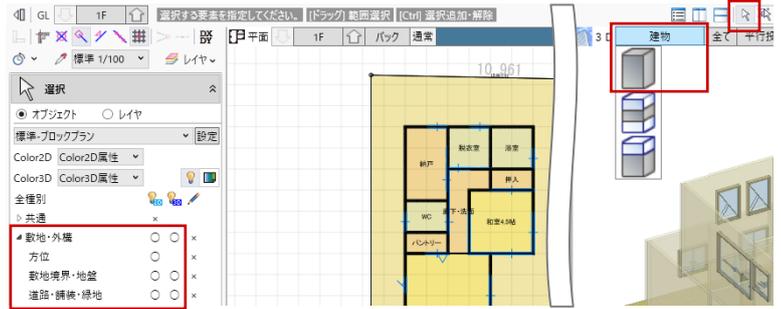
1. 「手摺断面形状」をクリックします。「断面形状」ウィンドウが開きます。
2. 手摺笠木、横の断面形状を編集します。



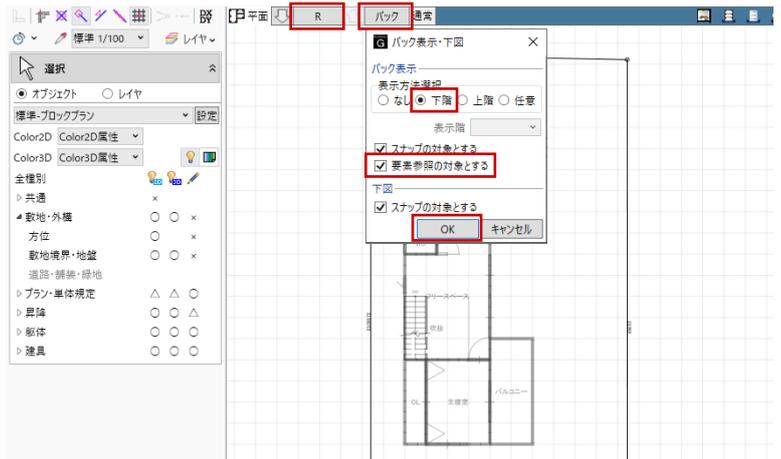
3.7. 屋根の入力

3.7.1. 補助線（軒先ライン）の作図

ツールバーの「選択」をクリックして、コマンドサポートウィンドウから「敷地・外構」オブジェクトの「2D表示」「3D表示」をONにします。



3Dビューの「エリアの切り替え」より「建物」を選択して、建物全体が表示されるようにします。

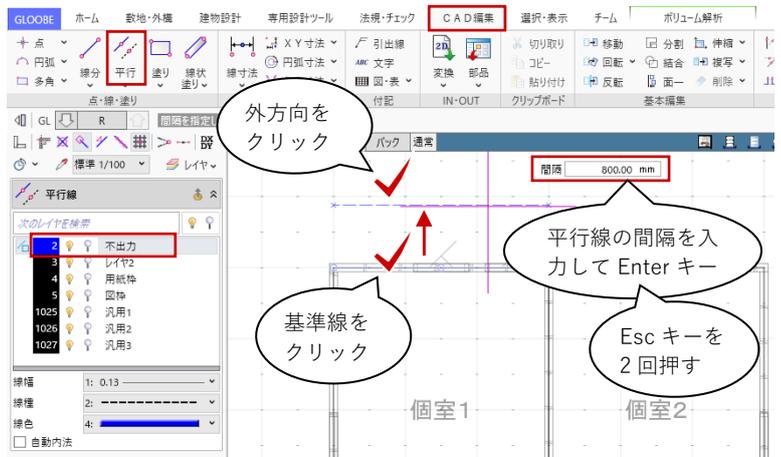


表示階を「R」階に切り替えます。

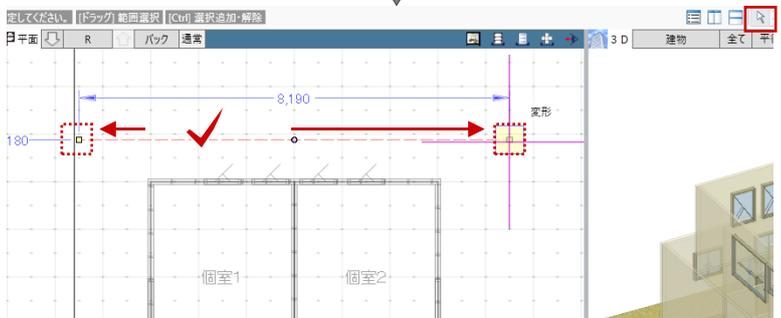
「バック表示・下図」をクリックして「下階」の表示をON、「要素参照の対象とする」をONにして「OK」します。

「CAD編集」タブから「平行線」をクリックします。コマンドサポートウィンドウより、「不出力」レイヤを選択します。

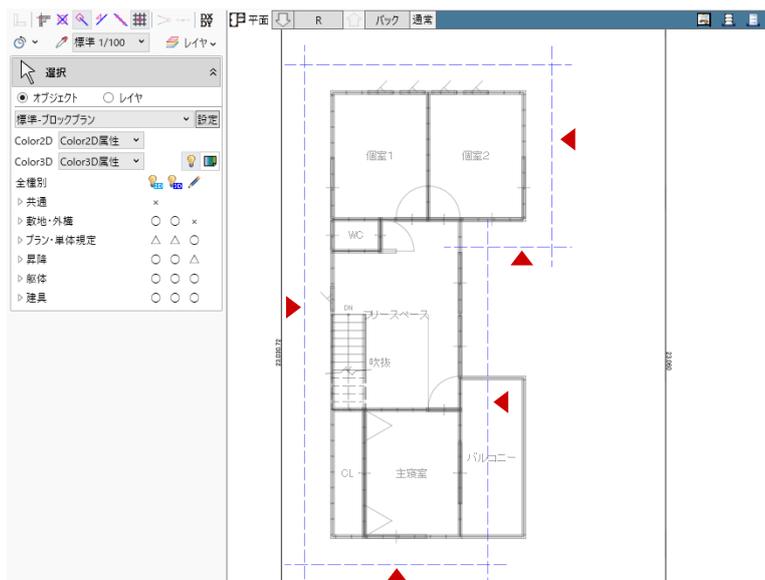
右図のように、バック表示されている2階のスペース外周線を基準線としてクリックします。外方向をクリックして、間隔の数値ボックスにキーボードから「800」と入力して、Enterキーで確定します。平行線の2本目が入力されようとするので、Escキーを2回押して解除します。



ツールバーの「選択」より、作図した平行線を選択してトラッカー編集で任意の長さに伸ばします。



同様の操作を繰り返して軒先ラインを作図します。

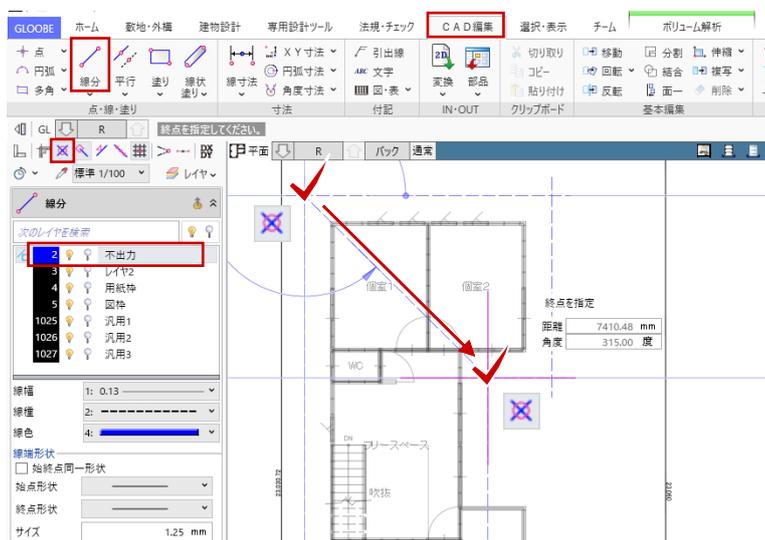


3.7.2. 補助線（棟・谷ライン）の作図

「CAD 編集」タブから「線分」をクリックします。コマンドサポートウィンドウより、「不出力」レイヤを選択します。

スナップモード：交点

右図のように、軒先ラインを対角にクリックして、屋根の取り合い線（谷のライン）を作図します。



3.7.3. 金属・防水系屋根（陸・傾斜）

「建物設計」タブから「陸・傾斜屋根」をクリックします。

入力モード：多角円形

配置基準：R 梁天 0

勾配 タイプ：片流れ 基準線方向

勾配：10/100

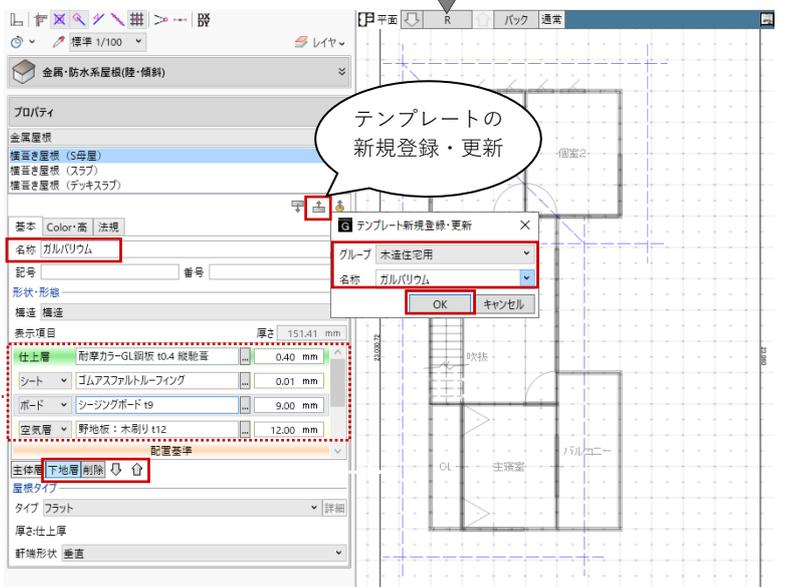
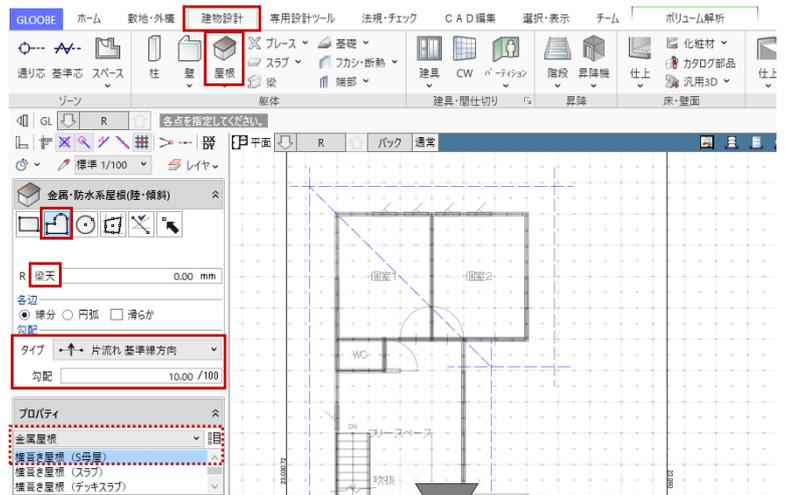
ガルバリウムの屋根を入力します。テンプレート内に適当なガルバリウムが登録されていないため、ここでは「金属屋根」-「横葺き屋根（S母屋）」を利用して新たにテンプレートを作成します。

作業がしやすいよう、スプリットバーをドラッグしてコマンドサポートウィンドウのサイズを広げます。

名称：ガルバリウム

「表示項目」内の各層の情報（名称や厚さ）を編集します。「主体層」「下地層」をクリックで層の追加、「削除」をクリックで選択した層の削除、「↑」「↓」で層の上下並び替えが行えます。

「テンプレートの新規登録・更新」をクリックして、「グループ名」「名称」を任意に入力して「OK」します。テンプレートとして新規登録されたので、今後、別の物件でもガルバリウムの利用が可能になります。

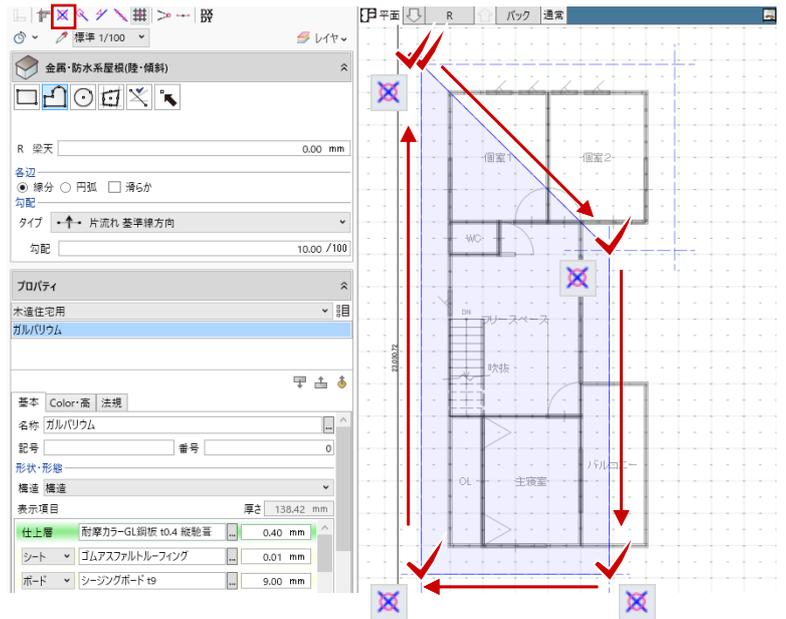


「表示項目」の下地の入力・編集は、省略してかまいません。登録した名称や厚みの情報は、立面図・矩計図等の引出線として、また外部仕上表に表記する内容として使用します。

屋根：耐摩カラーGL鋼板 t0.4 縦馳葺
 ゴムアスファルトルーフィング
 シーリングボード t9
 野地板：木刷り t12
 縦桟 21x45@455
 透湿透気シート：タイベックシルバー
 構造用合板 t12 (N50@150mm以下)
 垂木 45x60@303
 断熱材：現場発泡硬質ウレタンフォーム A種3 t160

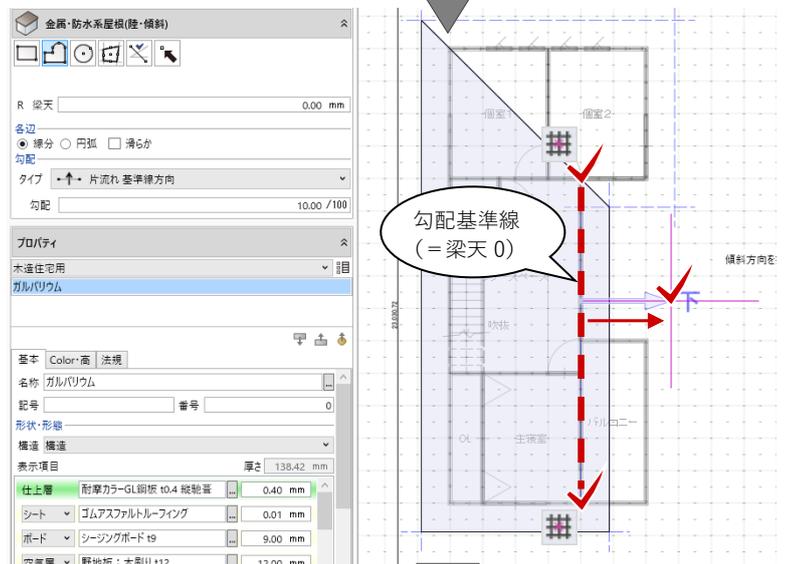
スナップモード：交点

右図のように、軒先と谷のラインを順にクリックして、屋根の領域を入力します。



スナップモード：グリッド

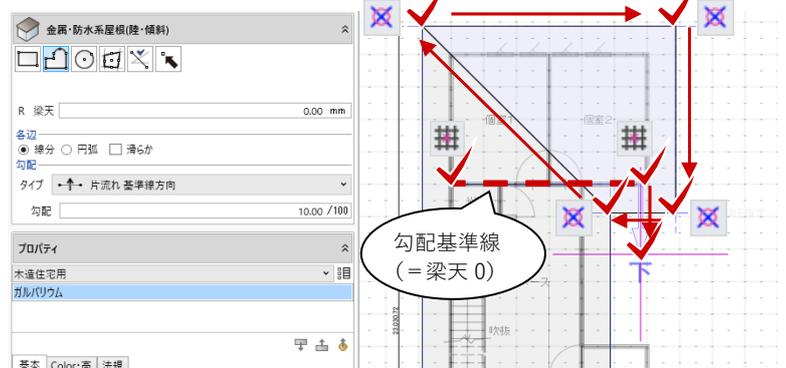
続けて、勾配基準線として梁の位置をクリックします。基準線の始点→終点の長さは任意でかまいません。



最後に、傾斜方向（水勾配）をクリックして、屋根が入力されます。

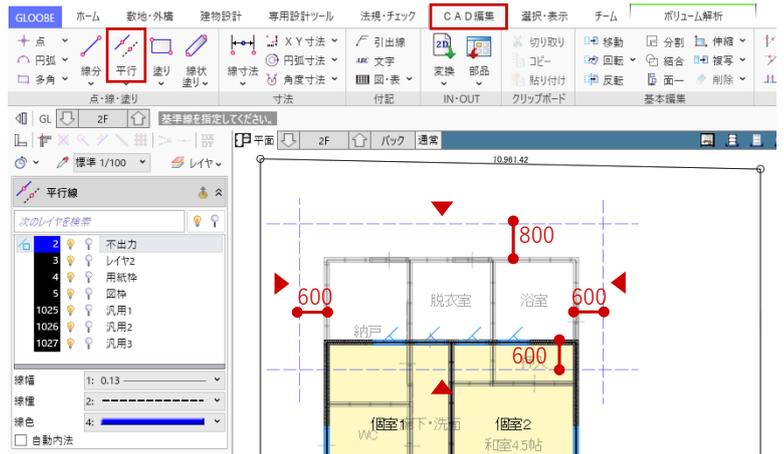
同様にして、もう一方の屋根も入力します。

R 階の屋根が完成しました。



表示階を「2F」に切り替えます。

R階と同様に、軒先・けらばのライン
 を作図します。

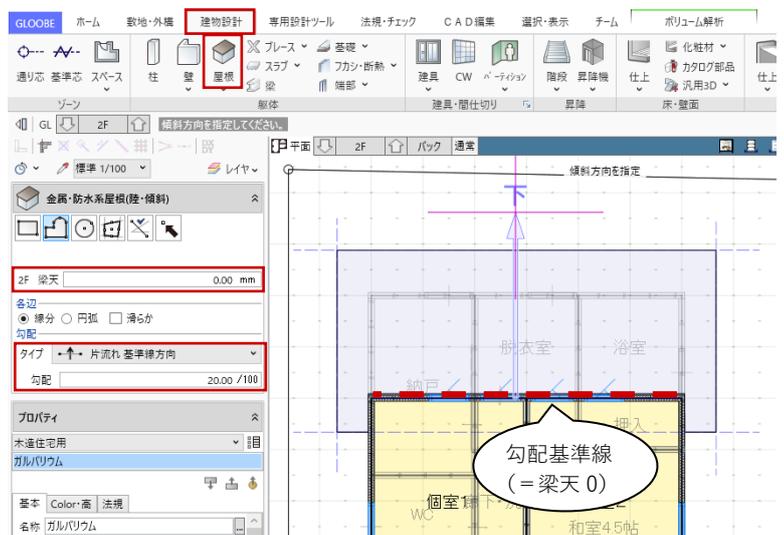


配置基準：2F 梁天 0

勾配 タイプ：片流れ 基準線方向

勾配：20/100

R階と同様に、右図のように2階の外
 壁ラインと軒先・けらばのラインを順
 にクリックして、下屋根を入力しま
 す。



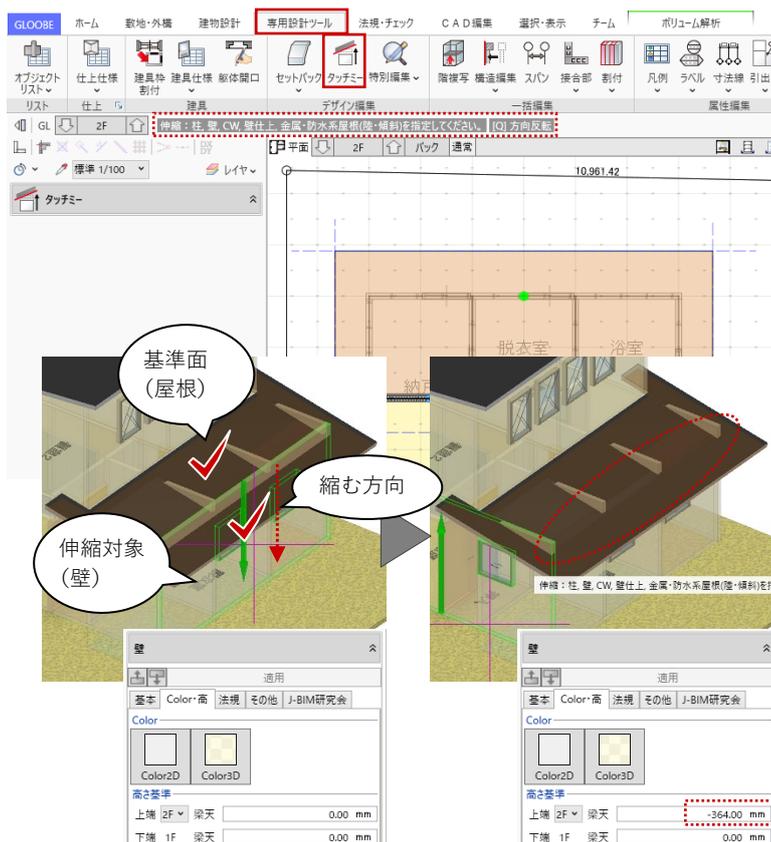
3.7.4. タッチミー

「専用設計ツール」タブから「タッチミー」をクリックします。

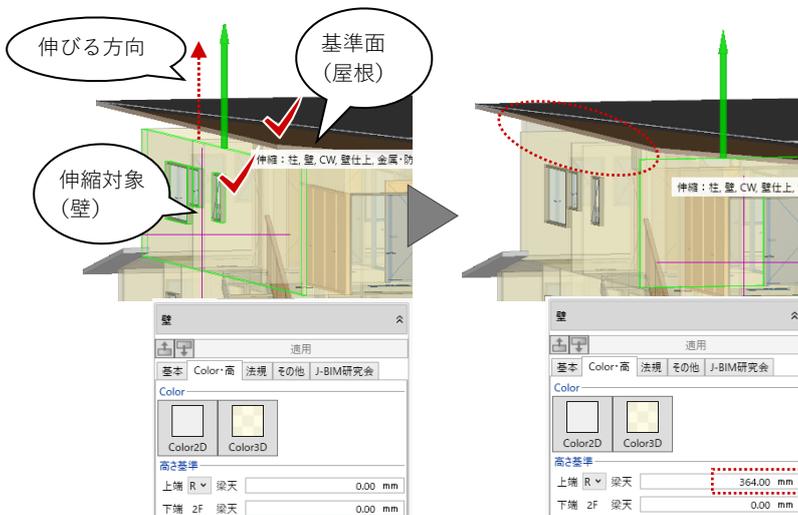
基準面として、3D ビュー上で下屋根をクリックします。基準面の屋根がオレンジで表示されます。

次に、伸縮対象として、屋根から飛び出している壁にマウスを近づけ、緑の矢印が下向きの状態をクリックします。壁が下方向に縮んで、屋根下で壁の上端が調整されました。

緑の矢印の向きは、キーボードの「Q」キーを押すことで上下反転します。



同様にして、1階・2階の壁の上端をタッチミーで調整します。基準となる屋根面を変更する場合は、キーボードの「Esc」キーを押して基準面を選択します。



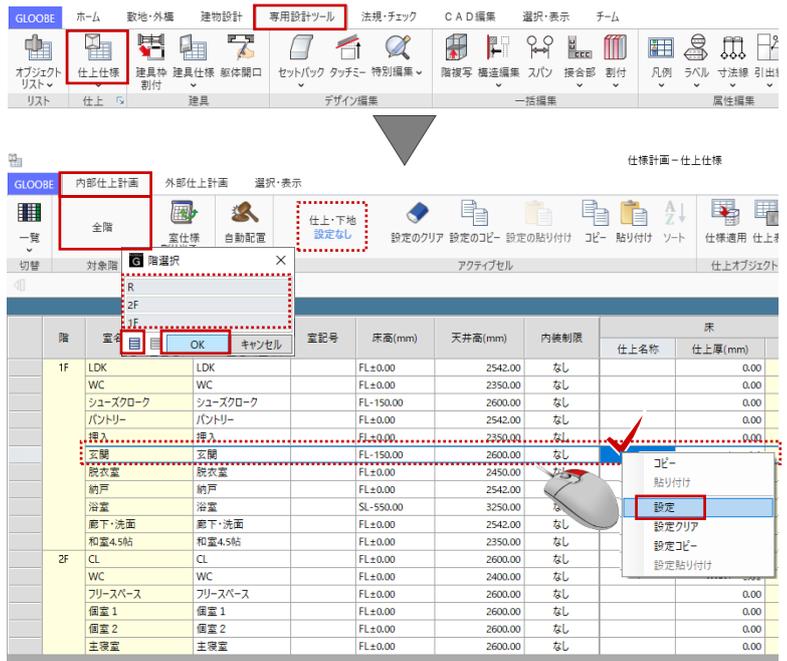
ここまでおおよその建物計画、敷地条件（用途地域・境界線）・スペース（居室の種類）・建具・屋根のモデルが入力できましたので、この時点で有効採光・換気・排煙の計算を行うことができます。今回は、計算は省略して先へ進みます。

3.8. 内装・外装の入力

3.8.1. 仕上仕様計画（内部仕上計画）

「専用設計ツール」タブから「仕上仕様」をクリックします。「仕様計画－仕上仕様」のウィンドウが開き、「内部仕上計画」タブが開きます。

「対象階」をクリックし、「階選択」で「全 ON」をクリックして「OK」します。階ごとと室名ごとに、床高、天井高、床、巾木、壁、廻縁、天井の仕上仕様計画の一覧が表示されます。仕上表を作成するイメージで内装計画を行うことができます。



1階玄関の仕上仕様を計画します。

・玄関一床

「床」の「仕上名称」のセルをクリックし、右クリックより「設定」を選びます。

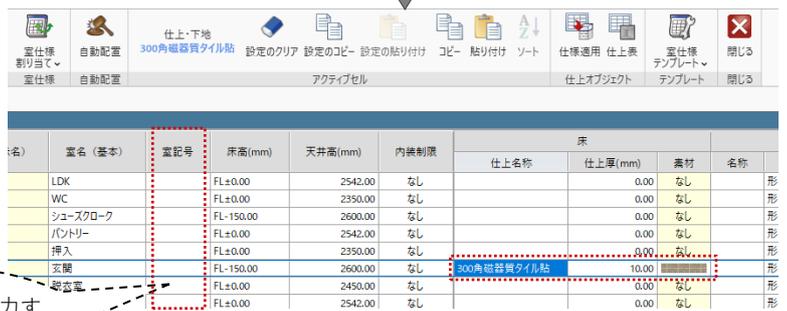
「内部仕上計画」タブから「仕上・下地－設定なし」をクリックしてもかまいません。



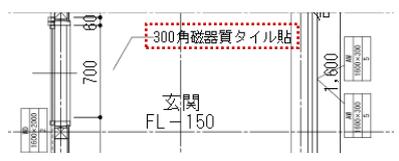
「仕上」ダイアログが開きます。リストボックスから、「タイル・石」の「300角タイル」のテンプレートを選び、次のように設定して「OK」します。

名称：300角磁器質タイル貼
 摘要：なし（空欄）
 厚さ：10
 Color3D：任意

「室記号」に数字を入力することで、仕上表が若い順に並び替わります。



ここで入力した「名称」「適用」「厚さ」の情報は、実施設計の各図面に表記することができます。詳細図・展開図作成時の引出線や、内部仕上表の各項目の情報として利用しますので、できるだけ正確に入力します。



階	室名	床高 (FL)	天井高 (OH)	床	
				下地	仕上
	玄関	-150	2600	モルタル t20 t=20	300角磁器質タイル貼
	シューズクローク	-150	2600	構造用合板 t28 t=28	同上

・玄関—巾木

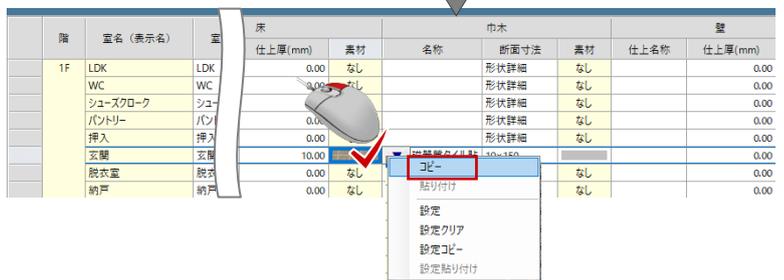
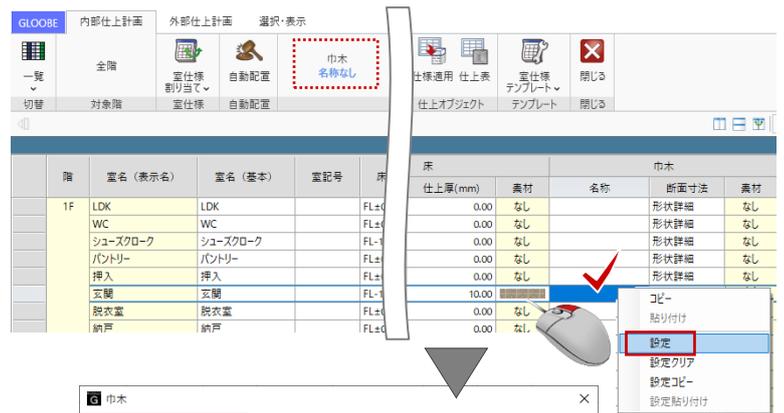
「巾木」の「名称」をクリックして、右クリックより「設定」を選びます。

「内部仕上計画」タブから「巾木—設定なし」をクリックしてもかまいません。

「巾木」ダイアログが開きます。リストボックスから、「タイル・石」の「タイル H=50」のテンプレートを選び、次のように設定します。
 名称：300 角磁器質タイル貼
 記号：なし（空欄）
 材質：タイル

「寸法設定」をクリックして、次のように設定して「OK」します。
 幅：10
 高さ：150

「床」の「素材」をクリックして、右クリック「コピー」を選びます。「巾木」の「素材」をクリックして、右クリック「貼り付け」を選ぶことで、床と巾木の「Color3D」が同じテキストチャになります。



・玄関一壁

「壁」の「名称」をクリックして、右クリックより「設定」を選びます。

「内部仕上計画」タブから「仕上・下地－設定なし」をクリックしてもかまいません。



「仕上」ダイアログが開きます。リストボックス内に適当な「塗壁」が登録されていないため、ここでは新たにテンプレートを作成します。

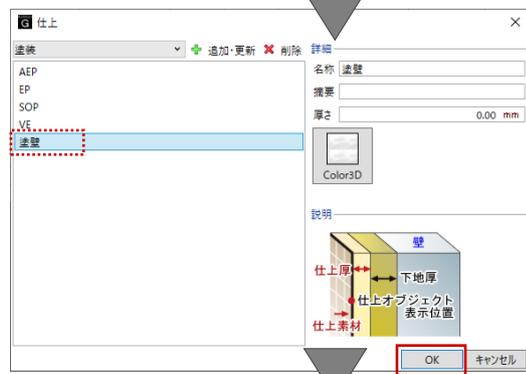
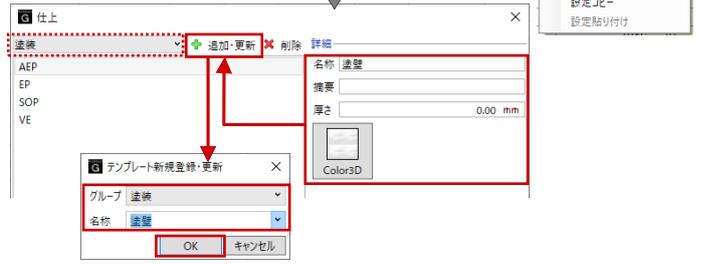
次のように設定します。

名称：塗壁

摘要：なし（空欄）

厚さ：0

Color3D：任意



「追加・更新」をクリックして、「テンプレート新規登録・更新」ダイアログの「グループ名」「名称」を任意に入力して「OK」します。

一覧にテンプレートが登録されます。

「仕上」のダイアログを「OK」で確定します。

階	室名 (表示名)	室名 (基本)	室記号	床高(m)	壁			天井						
					断面寸法	素材	仕上名称	仕上厚(mm)	名称	断面寸法	素材	仕上名称	仕上厚(mm)	素材
1F	LDK	LDK		FL±0.00	形状詳細	なし		0.00	なし	形状詳細	なし		0.00	なし
	WC	WC		FL±0.00	形状詳細	なし		0.00	なし	形状詳細	なし		0.00	なし
	シューズクローク	シューズクローク		FL-150.00	形状詳細	なし		0.00	なし	形状詳細	なし		0.00	なし
	パントリー	パントリー		FL±0.00	形状詳細	なし		0.00	なし	形状詳細	なし		0.00	なし
	押入	押入		FL±0.00	形状詳細	なし		0.00	なし	形状詳細	なし		0.00	なし
	玄関	玄関		FL-150.00	10×150	なし	塗壁	0.00	なし	形状詳細	なし		0.00	なし
	脱衣室	脱衣室		FL±0.00	形状詳細	なし		0.00	なし	形状詳細	なし		0.00	なし
	納戸	納戸		FL±0.00	形状詳細	なし		0.00	なし	形状詳細	なし		0.00	なし

・玄関一回縁

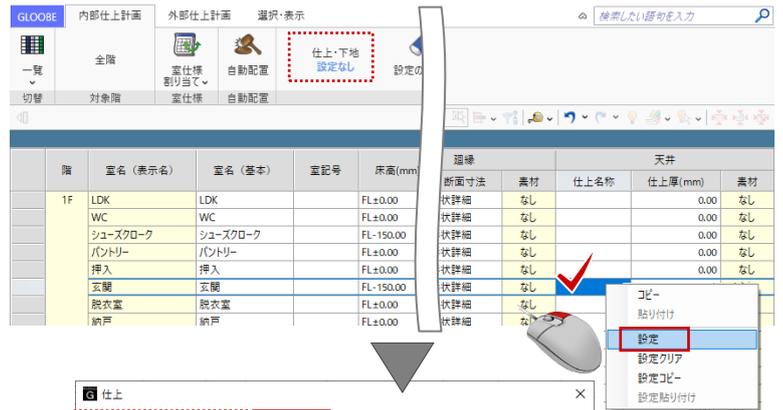
廻り縁は使用しません。ここでは、空欄のままとします。

階	室名 (表示名)	室名 (基本)	室記号	床高(m)	壁			天井						
					断面寸法	素材	仕上名称	仕上厚(mm)	名称	断面寸法	素材	仕上名称	仕上厚(mm)	素材
1F	LDK	LDK		FL±0.00	形状詳細	なし		0.00	なし	形状詳細	なし		0.00	なし
	WC	WC		FL±0.00	形状詳細	なし		0.00	なし	形状詳細	なし		0.00	なし
	シューズクローク	シューズクローク		FL-150.00	形状詳細	なし		0.00	なし	形状詳細	なし		0.00	なし
	パントリー	パントリー		FL±0.00	形状詳細	なし		0.00	なし	形状詳細	なし		0.00	なし
	押入	押入		FL±0.00	形状詳細	なし		0.00	なし	形状詳細	なし		0.00	なし
	玄関	玄関		FL-150.00	形状詳細	なし		0.00	なし	形状詳細	なし		0.00	なし
	脱衣室	脱衣室		FL±0.00	形状詳細	なし		0.00	なし	形状詳細	なし		0.00	なし
	納戸	納戸		FL±0.00	形状詳細	なし		0.00	なし	形状詳細	なし		0.00	なし

・玄関-天井

「天井」の「名称」をクリックして、右クリックより「設定」を選びます。

「内部仕上計画」タブから「仕上・下地-設定なし」をクリックしてもかまいません。



「仕上」ダイアログが開きます。テンプレート内に「羽目板」が登録されていないため、ここでは新たにテンプレートを作成します。

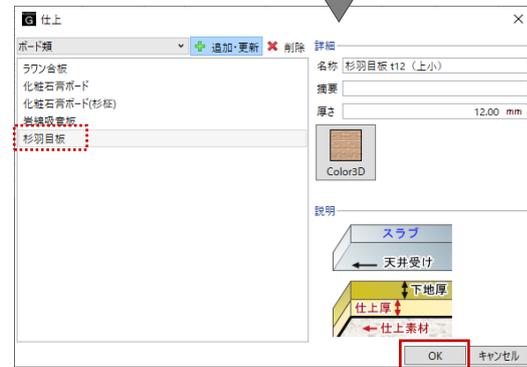
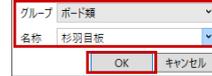
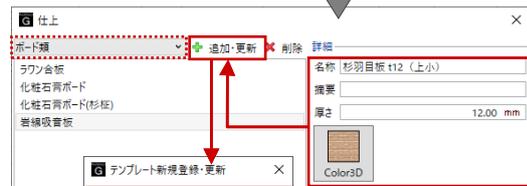
次のように設定します。

名称：杉羽目板 t12 (上小)

摘要：なし (空欄)

厚さ：12

Color3D：任意



「追加・更新」をクリックして、「テンプレート新規登録・更新」ダイアログの「グループ名」「名称」を任意に入力して「OK」します。

一覧にテンプレートが登録されます。

「仕上」のダイアログを「OK」で確定します。

階	室名 (表示名)	室名 (基本)	室記号	床高(mm)	選擇		天井		
					断面寸法	素材	仕上名称	仕上厚(mm)	素材
1F	LDK	LDK		FL±0.00	形状詳細	なし		0.00	なし
	WC	WC		FL±0.00	形状詳細	なし		0.00	なし
	シューズクローク	シューズクローク		FL-150.00	形状詳細	なし		0.00	なし
	パントリー	パントリー		FL±0.00	形状詳細	なし		0.00	なし
	押入	押入		FL±0.00	形状詳細	なし		0.00	なし
	玄関	玄関		FL-150.00	形状詳細	なし	杉羽目板 t12 (上小)	12.00	なし
	脱衣室	脱衣室		FL±0.00	形状詳細	なし		0.00	なし
	納戸	納戸		FL±0.00	形状詳細	なし		0.00	なし

・シューズクローク 仕上仕様の複製

シューズクロークと玄関の内部仕上は同じものとして扱います。

玄関の仕上（ここでは天井仕上）を選んで「設定コピー」をクリックします。

シューズクロークの仕上を選んで、「設定貼り付け」をクリックすることで、玄関の仕上がシューズクロークにコピーされます。



床、巾木、壁も同様に「設定コピー」「設定貼り付け」を繰り返して、玄関の仕上仕様をコピーします。

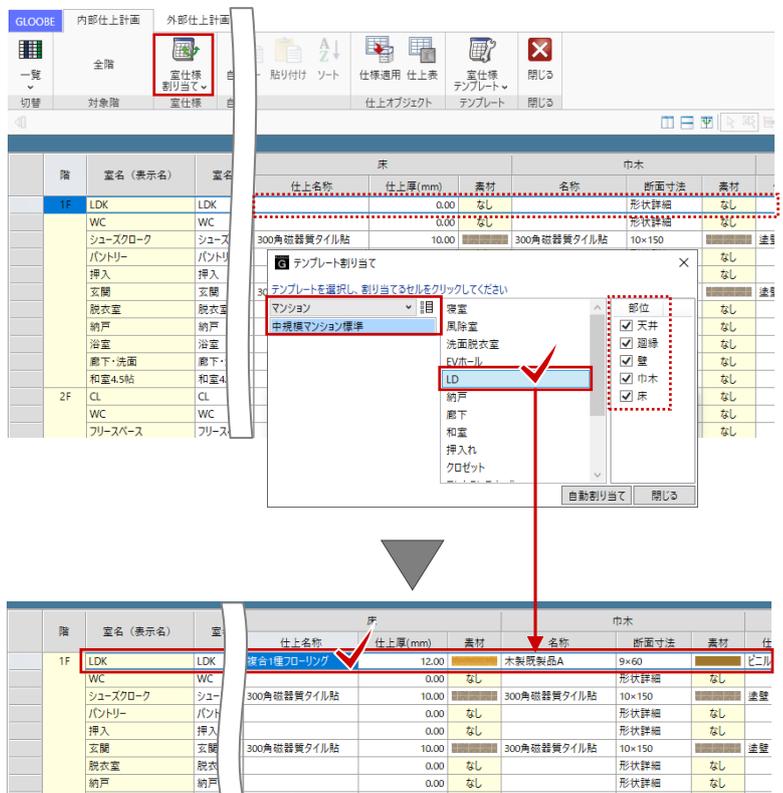


「設定コピー」「設定貼り付け」はセル単位のコピーでなく、「仕上名称」「仕上厚」「素材」「断面寸法」など仕上仕様の情報を丸ごとコピーします。

・LDK ほか一室仕様割り当て

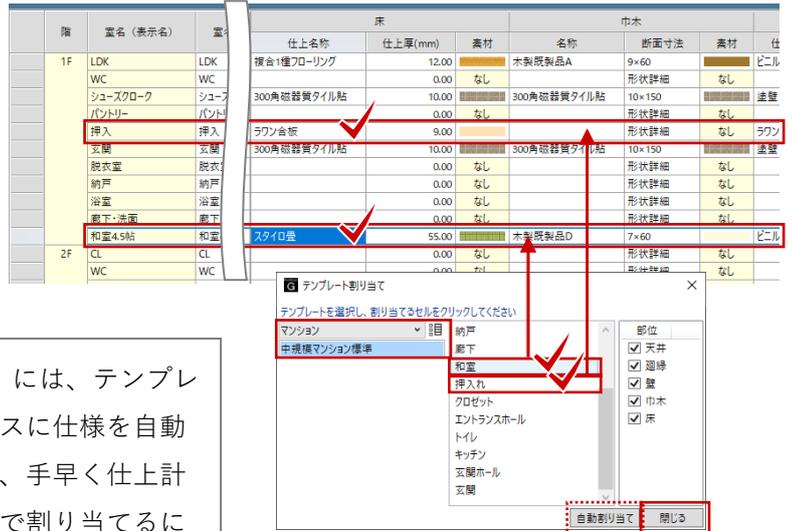
玄関のようにゼロから仕上計画を行う方法だけでなく、「室仕様テンプレート」を利用して部屋ごとに一括設定する方法もあります。

ここでは、LDK を例にご紹介します。「内部仕上計画」タブから「室仕様割り当て」をクリックします。「テンプレート割り当て」ダイアログのリストボックスから、「マンション」 - 「中規模マンション標準」を選びます。室名の一覧から「LD」を選択して、LDK のいずれかのセルをクリックすることで、テンプレートに登録された天井・廻縁・壁・巾木・床の各部位の仕上がまとめて割り当てされます。



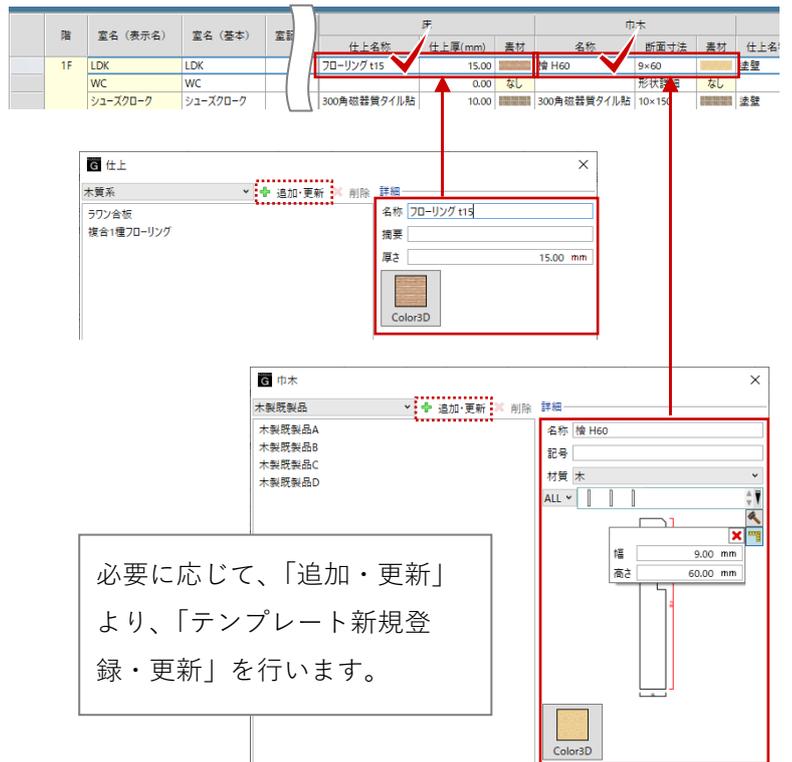
同様に、和室、押入に対しても割り当てを行います。

割り当て終了後、「閉じる」で「室仕様割り当て」を終了します。



ここでは利用しませんが、「室仕様割り当て」には、テンプレートに登録されている室と同じ室名のスペースに仕様を自動で割り当てる「自動割り当て」の機能があり、手早く仕上計画を行う際には便利な機能です。なお、自動で割り当てるには、テンプレートに登録されている室名とスペースの室名が同じ（部分一致）である必要があります。

割り当てた計画を一部修正します。
ここでは LDK を例に、各仕上を右クリックして「設定」や「設定クリア」、「設定コピー」「設定貼り付け」を使って次のように修正します。



・ LDK一床

名称：フローリング t15

厚さ：15

Color3D：任意

・ LDK一中木

名称：檜 H60

Color3D：任意

・ LDK一壁

シューズクロークの壁をコピー

「設定コピー」→「設定貼り付け」

・ LDK一廻縁

右クリックより「設定クリア」



同様の操作で、1階・2階すべての部屋の内部仕上を計画します。計画内容は任意でかまいません。

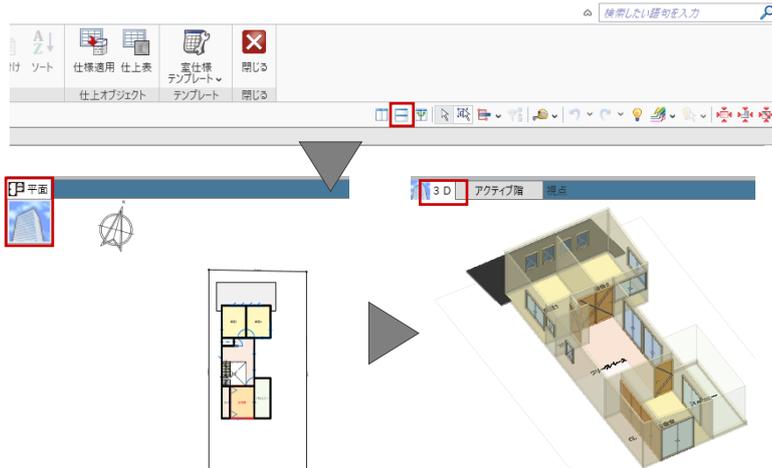
階	室名 (表示名)	室名 (基本)	室記号	床高(mm)	天井高(mm)	内装制限	床			巾木			壁			廻縁			天井	
							仕上名称	仕上厚(mm)	素材	名称	断面寸法	素材	仕上名称	仕上厚(mm)	素材	名称	断面寸法	素材	仕上名称	仕上
1F	LDK	LDK		FL±0.00	2542.00	なし	フローリング t15	15.00	樟 H60	9×60	塗壁	0.00		形状詳細	なし	ビニルクロス				
	WC	WC		FL±0.00	2350.00	なし	フローリング t15	15.00	樟 H60	9×60	ビニルクロス	0.00		形状詳細	なし	ビニルクロス				
	シューズクローク	シューズクローク		FL-150.00	2600.00	なし	300角磁器質タイル貼	10.00	300角磁器質タイル貼	10×150	塗壁	0.00		形状詳細	なし	杉羽目板 t12 (上小)				
	パントリー	パントリー		FL±0.00	2542.00	なし	フローリング t15	15.00	樟 H20	9×20	シナ合板 t6	6.00	樟 20×20	20×20		シナ合板 t4.5				
	押入	押入		FL±0.00	2350.00	なし	シナ合板 t9	9.00	ぞうきん刷 (樟一等)	15×15	シナ合板 t6	6.00			形状詳細	なし	シナ合板 t4.5			
	玄関	玄関		FL-150.00	2600.00	なし	300角磁器質タイル貼	10.00	300角磁器質タイル貼	10×150	塗壁	0.00		形状詳細	なし	杉羽目板 t12 (上小)				
	脱衣室	脱衣室		FL±0.00	2450.00	なし	フローリング t15	15.00	樟 H60	9×60	ビニルクロス	0.00		形状詳細	なし	ビニルクロス				
	納戸	納戸		FL±0.00	2542.00	なし	フローリング t15	15.00	樟 H60	9×60	ビニルクロス	0.00		形状詳細	なし	ビニルクロス				
	浴室	浴室		SL-590.00	3250.00	なし		0.00	なし	形状詳細	なし	0.00	なし		形状詳細	なし				
	廊下・洗面	廊下・洗面		FL±0.00	2542.00	なし	フローリング t15	15.00	樟 H60	9×60	塗壁	0.00		形状詳細	なし	ビニルクロス				
2F	和室4.5帖	和室4.5帖		FL±0.00	2350.00	なし	畳敷き T55	55.00	畳寄せ	15×55	和紙 (月桃紙)	0.00		形状詳細	なし	ビニルクロス				
	CL	CL		FL±0.00	2600.00	なし	フローリング t15 (書松)	15.00	木製 H60	9×60	ビニルクロス	0.00		形状詳細	なし	ビニルクロス				
	WC	WC		FL±0.00	2400.00	なし	フローリング t15 (書松)	15.00	樟 H60	9×60	ビニルクロス	0.00		形状詳細	なし	ビニルクロス				
	フリースペース	フリースペース		FL±0.00	2600.00	なし	フローリング t15 (書松)	15.00	木製 H60	9×60	ビニルクロス	0.00		形状詳細	なし	ビニルクロス				
	個室 1	個室 1		FL±0.00	2600.00	なし	フローリング t15 (書松)	15.00	木製 H60	9×60	ビニルクロス	0.00		形状詳細	なし	ビニルクロス				
	個室 2	個室 2		FL±0.00	2600.00	なし	フローリング t15 (書松)	15.00	木製 H60	9×60	ビニルクロス	0.00		形状詳細	なし	ビニルクロス				
	主寝室	主寝室		FL±0.00	2600.00	なし	フローリング t15 (書松)	15.00	木製 H60	9×60	ビニルクロス	0.00		形状詳細	なし	ビニルクロス				

ここでは計画しませんが、「内部仕上計画」や「外部仕上計画」タブの「切替」では、対象を「一覧リスト」から各部材の「詳細」に切り替えることで下地の計画が行えます。例として、「詳細一壁」に対象を切り替えると、「下地名称」「下地厚」といった列が表示され、躯体種別ごとに下地の計画が行えます。「詳細一床」や「詳細一天井」では、「下地名称」「下地厚」のほか「受け名称」「受けタイプ」の計画が行えます。

第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

計画した内部仕上仕様を建物モデルに自動配置します。

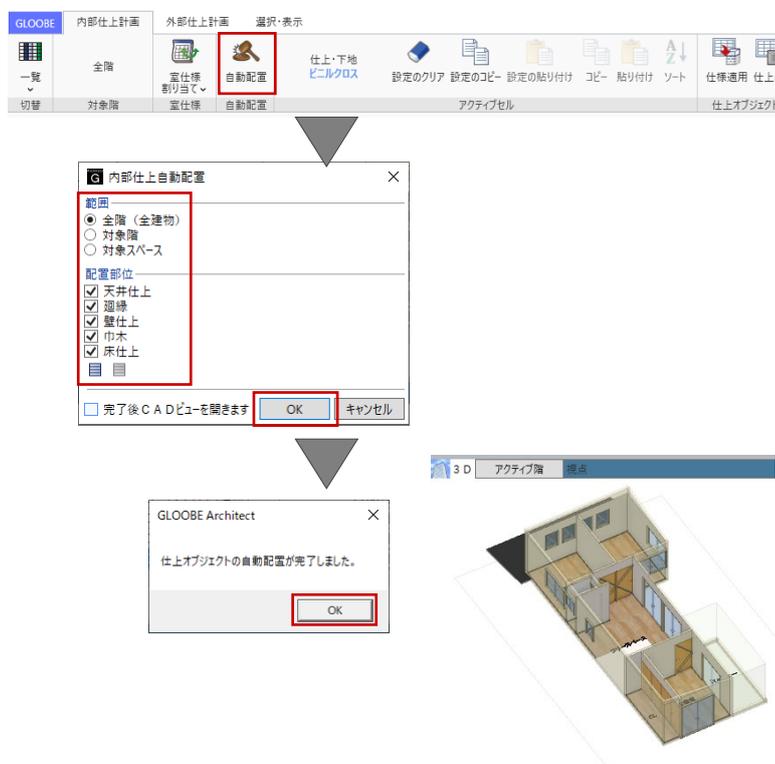
「上下に並べて表示」をクリックして、「ビューの切り替え」から3Dビューに切り替えます。



「自動配置」をクリックします。設定を確認して、「OK」をクリックします。

範囲：全階（全建物）
配置部位：すべて ON

メッセージを確認して「OK」します。



3.8.2. 仕上仕様計画（外部仕上計画）

「外部仕上計画」タブをクリックします。

・外壁

「壁」の「仕上名称」のセルをクリックし、右クリックより「設定」を選びます。

「外部仕上計画」タブから「仕上・下地-設定なし」をクリックしてもかまいません。

「仕上」ダイアログが開きます。テンプレート内に「シラスそとん壁」が登録されていないため、ここでは新たにテンプレートを作成して、「OK」します。

- 名称：シラスそとん壁 t20
- 摘要：下塗 t10、上塗 t10
- 厚さ：20
- Color3D：任意

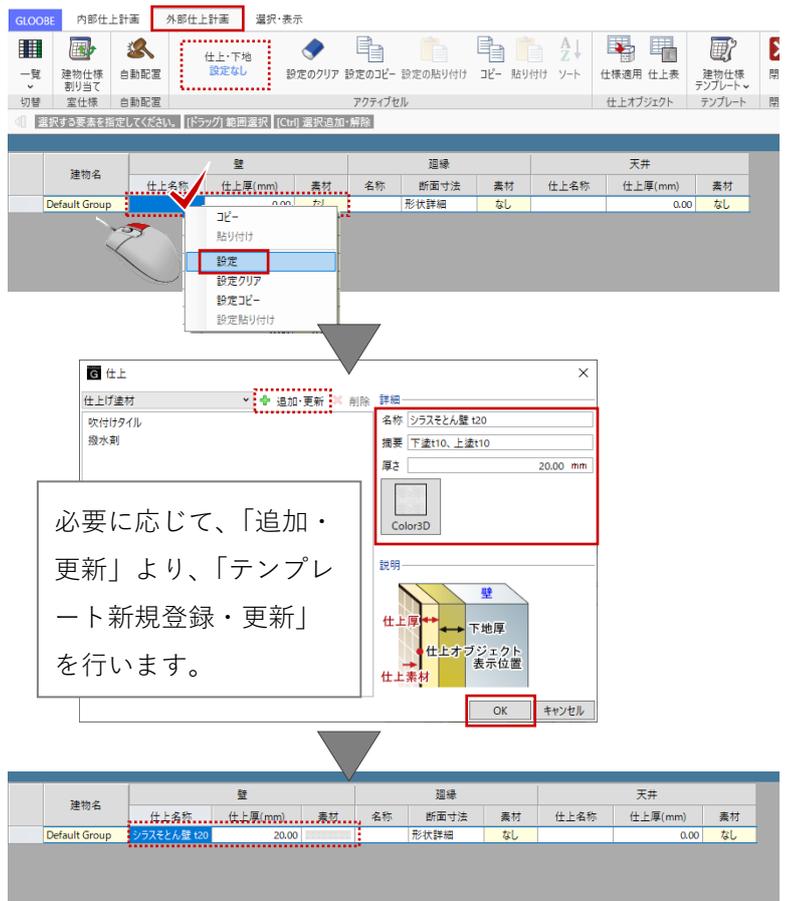
計画した内部仕上仕様を建物モデルに自動配置します。

「自動配置」をクリックします。設定を確認して、「OK」をクリックします。

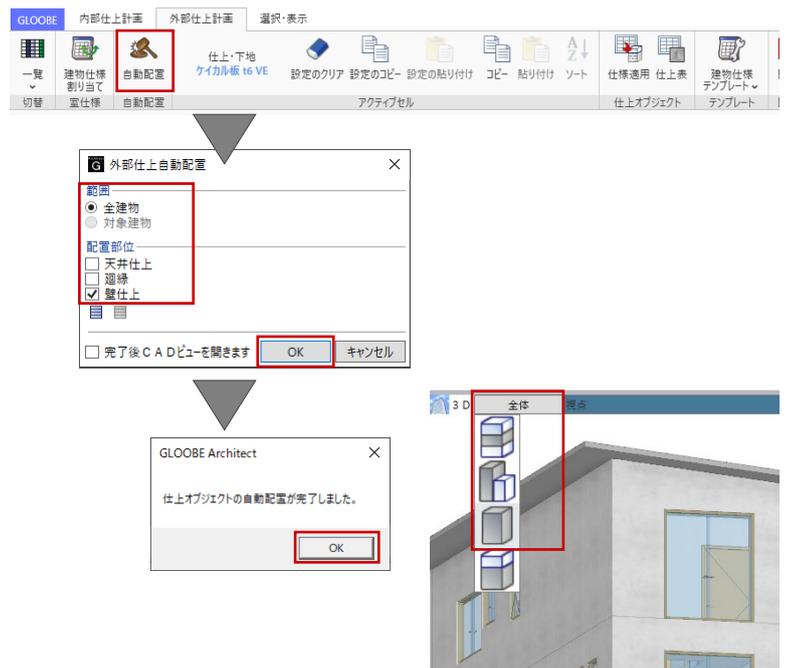
- 範囲：全建物
- 配置部位：壁仕上

メッセージを確認して「OK」します。

3Dビューの「エリアの切り替え」から「全体」で建物全体を確認します。



必要に応じて、「追加・更新」より、「テンプレート新規登録・更新」を行います。

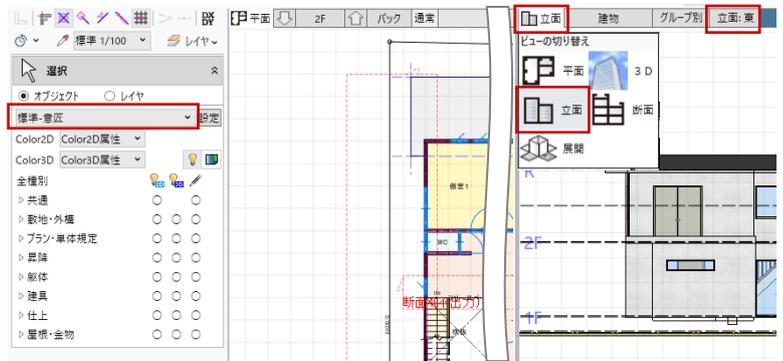


「外部仕上計画」タブの「閉じる」をクリックして、「仕上仕様計画」を終了します。



3.8.3. 表示設定、立面ビュー

コマンドサポートウィンドウから、「標準-意匠」に表示を切り替えます。これまでに入力したすべての意匠系オブジェクトが表示されます。



「ビューの切り替え」で表示を「立面ビュー」に切り替え、東西南北それぞれの立面ビューを確認します。

この時点では外周部の基礎が入力されていないため、地面から建物が浮いた表示になっています。



3.8.4. 立面ビューの追加

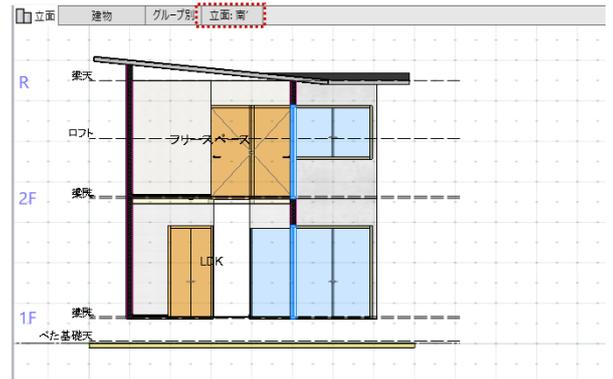
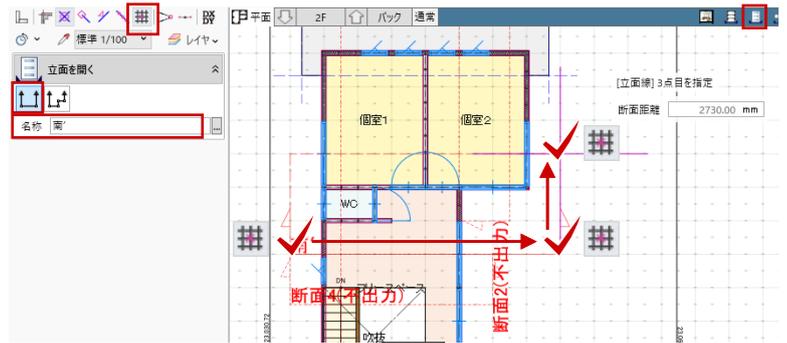
立面線を入力して、立面ビューを追加します。平面ビューツールバーの「立面を開く」をクリックします。

入力モード：立面線
名称：南'

スナップモード：グリッド

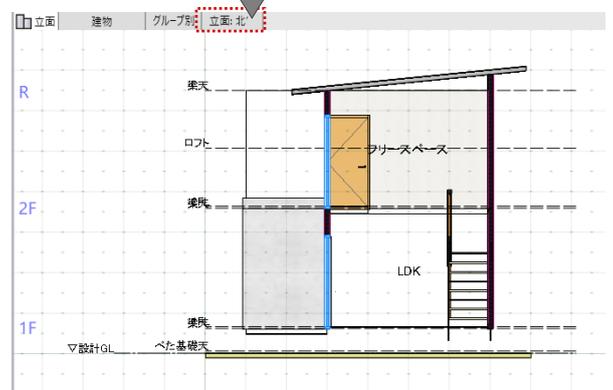
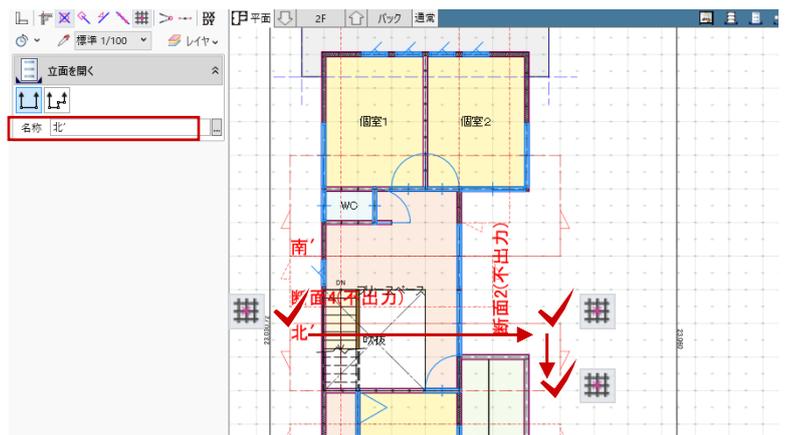
右図のように、立面線の1点目→2点目、見る方向の3点目を順にクリックします。

指定した位置の立面ビューが表示されます。



同様にして、もう一方の立面も確認します。

名称：北'



3.8.5. 外壁の部分変更

自動配置された外壁仕上げを一部変更します。

「建物設計」タブの「床・壁面」グループより「外壁仕上」をクリックします。

入力モード：面指定

外壁仕上のテンプレート内に「ガルバリウム」が登録されていないため、ここでは新たにテンプレートを作成します。

「基本」タブ

名称：ガルバリウム

仕上

名称：角波ガルバリウム鋼板 t0.5

摘要：なし

厚さ：15

下地

省略してかまいません

「Color・高」タブ

Color3D：任意

ハッチング 3D：

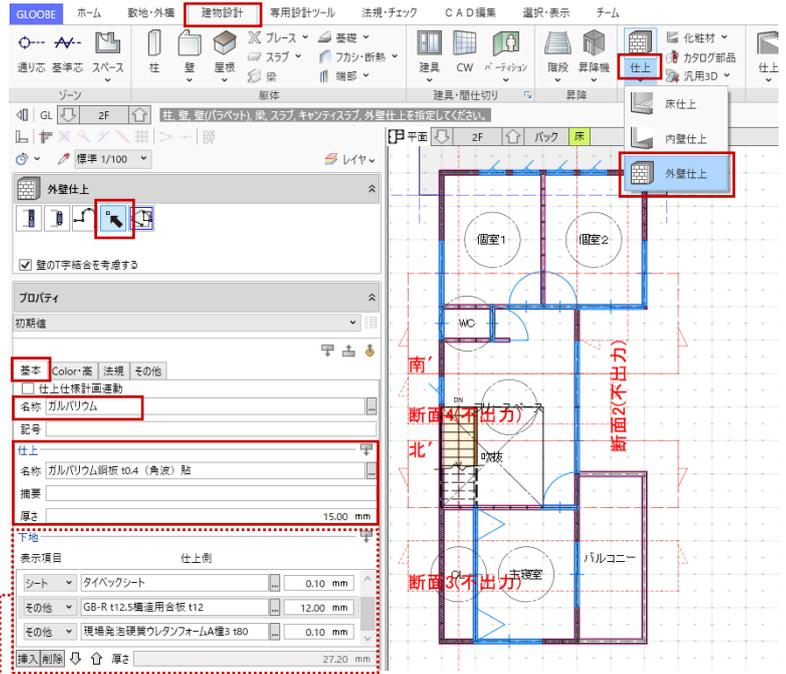
種類：ハッチング（システム）

パターン：単線

ピッチ：150

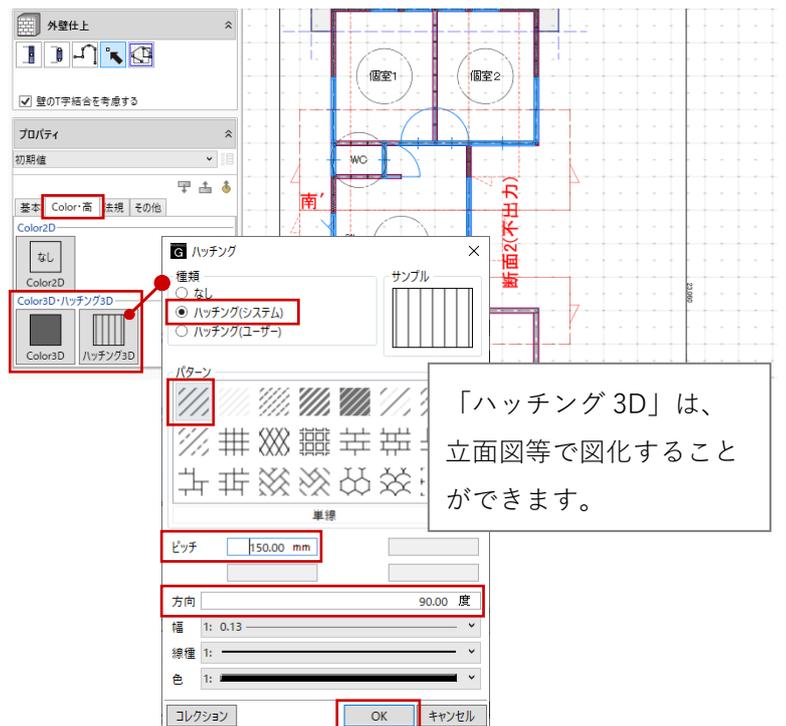
方向：90度

必要に応じて、「テンプレートの新規登録・更新」を行います。



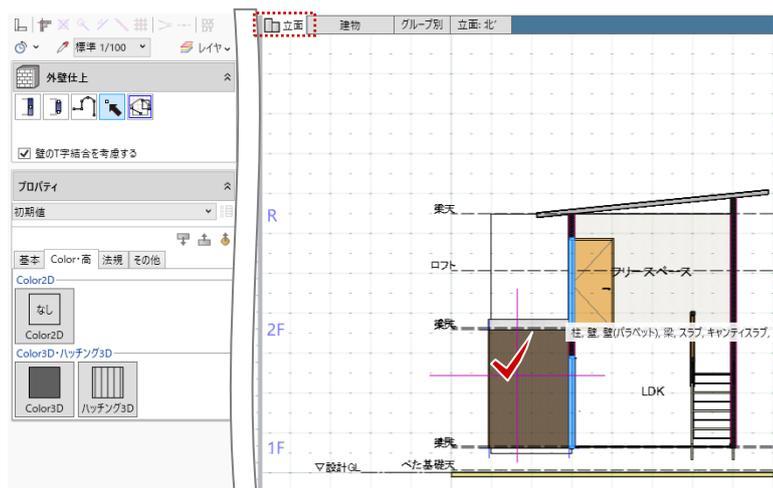
下地の入力・編集は、省略してかまいません。登録した名称や厚みの情報は、立面図・矩計図等の引出線として、また外部仕上表に表記する内容として利用されます。

外壁：角波ガルバリウム鋼板 t0.5
 縦鋼線 15×30（程度）φ455（通気層）
 タイベックシート（防風層）
 構造用合板 t12
 断熱材：現場発泡硬質ウレタンフォーム A種 3 t80



「ハッチング 3D」は、立面図等で図化することができます。

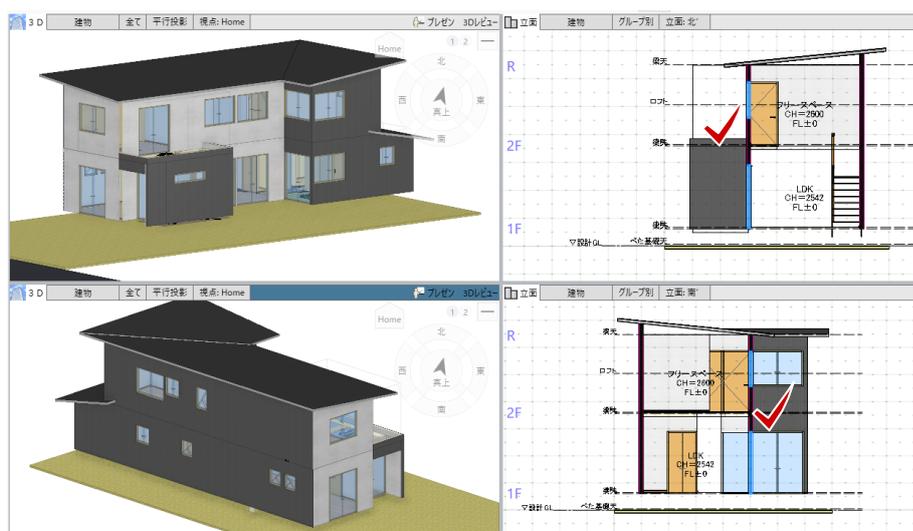
変更したい壁面を立面ビュー上でクリックします。



東面1階、西面、北面の外壁を右図のように変更します。

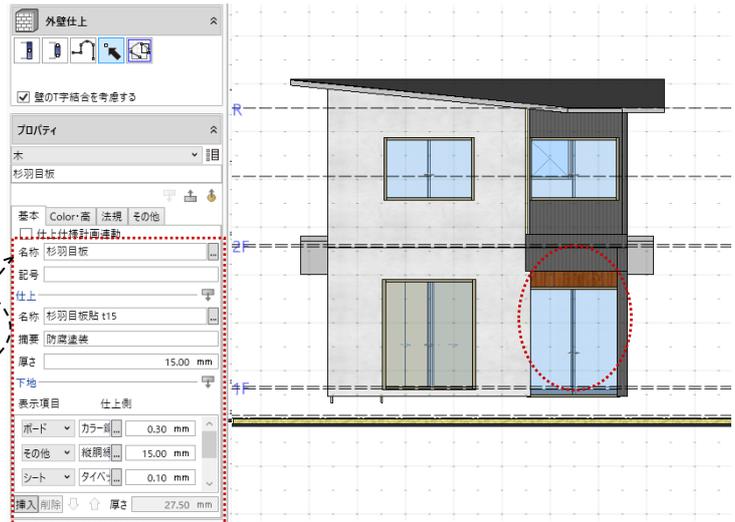


立面ビュー上でクリックしづらい場合は、ビューを3Dビューに切り替えて3Dビュー上でクリックしてもかまいません。



同様の操作で、玄関ポーチ内の外壁は「杉羽目板」に変更します。(こちらの操作は省略してもかまいません。)

テンプレートを
作成しています



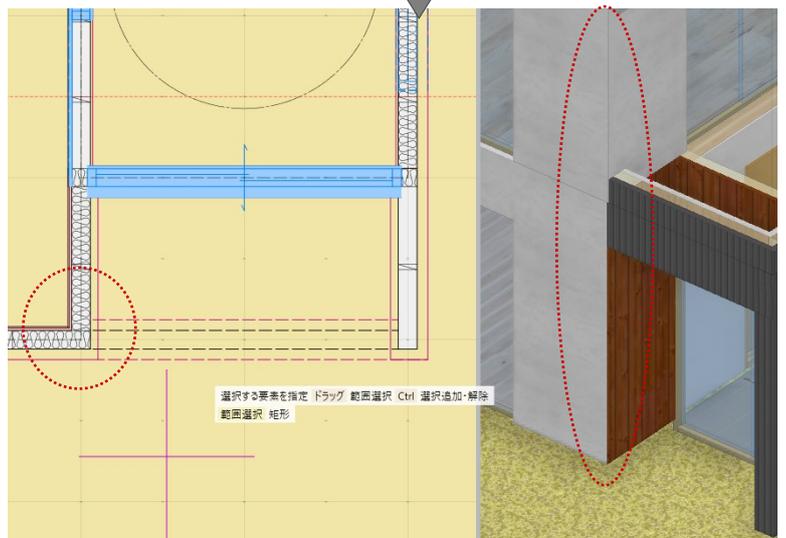
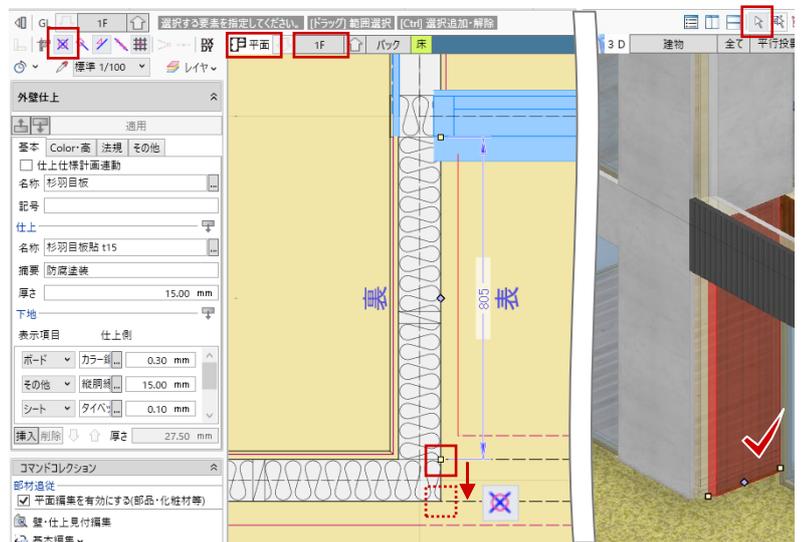
3.8.6. 外壁の部分編集

「ビューの切り替え」で「平面ビュー」と「3Dビュー」の2画面表示に切り替え、1階を表示します。

1階ポーチ、2階バルコニー部分の外壁コーナーの一部に隙間が空いています。ツールバーの「選択」をクリックして、右図のように外壁仕上を選択します。

スナップモード：交点または端点
外壁の端部をトラッカーで伸縮して、コーナーの取り合いを調整します。

該当する外壁はすべて調整します。



3.8.7. 1F 外壁の下端高変更

1階外壁仕上の下端高を変更します。
ツールバーの「フィルタ」をクリックします。

「選択フィルタ」ダイアログの「アクティブビュー」タブから「外壁仕上」の旗マークをクリックします。

「外壁仕上抽出条件」ダイアログを次のように設定し、「OK」します。

項目：下端高

値：1F 梁天 0

条件：と等しい

「選択フィルタ」ダイアログの「外壁仕上」の旗マークが赤く変わったのを確認して、「OK」します。

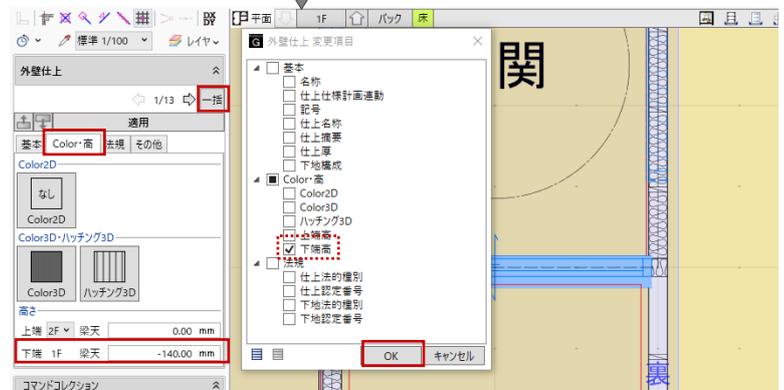
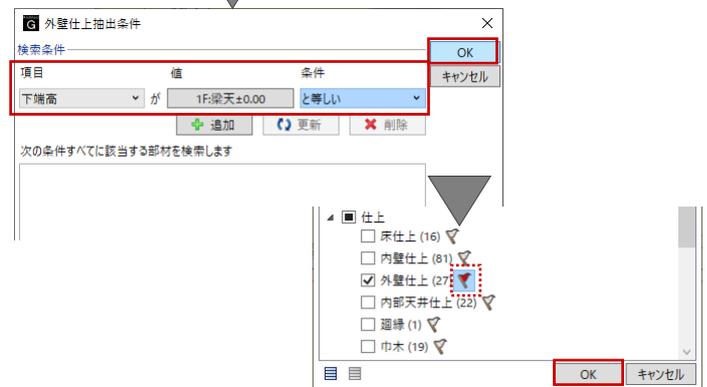
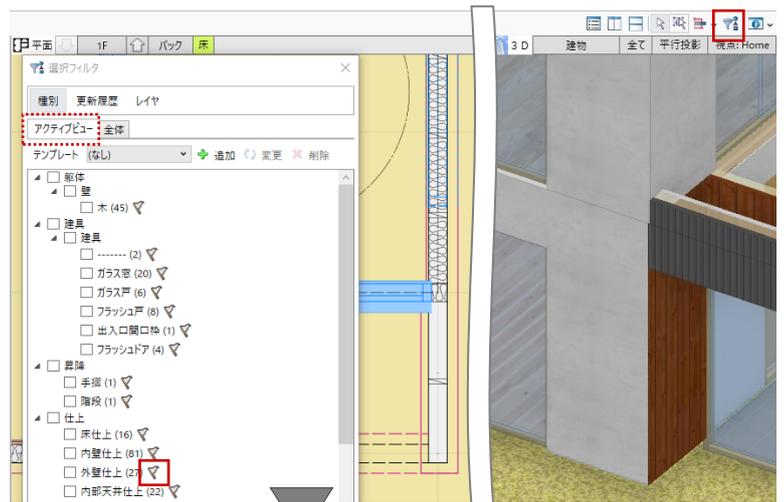
条件に一致する外壁仕上（13箇所）がすべて選択された状態になります。

コマンドサポートウィンドウの「Color・高」タブで次のように下端高を変更します。

高さ 下端：1F 梁天 -140

「一括」ボタンをクリックして、「下端高」にチェックがついていることを確認して「OK」します。

「Esc」キーを押して選択状態を解除します。



3.8.8. 外部天井仕上の入力

「建物設計」タブの「天井面」グループより「外部天井仕上」をクリックします。

・玄関ポーチあげ裏

入力モード：矩形

1 F FL：2390

「外部天井仕上」のプロパティを次のように設定します。

「基本」タブ

名称：杉板

仕上

名称：杉本実板 t12

摘要：防腐塗装（2回）

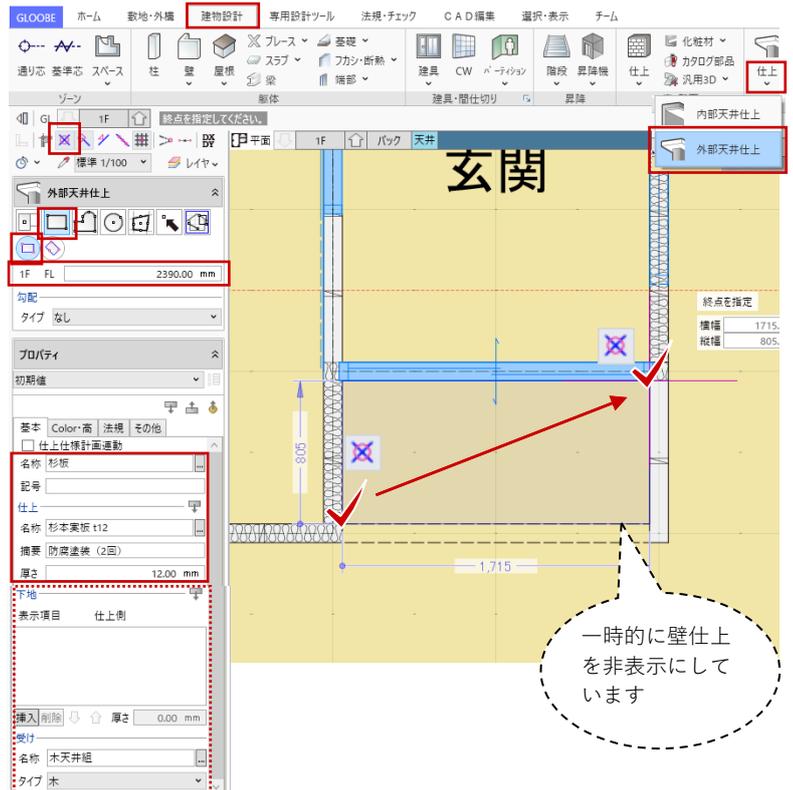
厚さ：12

下地

省略してかまいません

スナップモード：交点

玄関ポーチの内壁面のコーナーをクリックして、天井仕上を入力します。



・軒裏

入力モード：面指定

「外部天井仕上」のテンプレートから「LGS下地」 - 「VE ケイカル板」を選択します。

3D ビュー上で屋根の裏面をクリックすることで、軒裏に天井仕上が配置されます。すべての屋根に軒裏を配置します。

